留学生のための生活ガイド

Guidance Handbook for International Students

千葉大学

CHIBA UNIVERSITY

留学生のための生活ガイド

りゅうがくせい　せいかつ

Guidance Handbook for International Students

2022

千葉大学国際教育センター

ちばだいがくこくさいきょういく

インターナショナル・サポートデスク (ISD)

Center for International Education (CIE)

International Support Desk (ISD)

目　次　＜日本語＞

I. 留学生を支援する大学の機関

1．インターナショナル・サポートデスク (ISD) 1
2．国際教育センター (CIE: Center for International Education) 3
3．留学生課 4
4．学生支援課 4
5．就職支援課 5

II. 在留に関する手続き

1．在留資格 6
2．在留カード 6
3．在留期間 6
4．在留資格「留学」と休学 7
5．卒業・修了後の在留資格 8
6．資格外活動許可（アルバイトなど） 8
7．在留資格を「留学」に変更する場合 10
8．出入国在留管理局（入管）に届ける必要があること 11

III. 住まいに関すること

1．住民登録 13
2．引っ越し・退去をするとき 13
3．千葉大学国際交流会館 15
4．薫風寮 16
5．大学が紹介する宿舎 16
6．民間のアパートなど 16

IV. 保険について

1．国民健康保険 18
2．国民年金 20
3．学研災・インバウンド付帯学総（授業や研究中の保険） 22

V. 病院について

1．緊急のとき 23
2．大学内のクリニック 23
3．民間の病院 24
4．夜間・休日に病院に行きたい時 25
5．薬を買いたい時 25

VI. 大学での生活

1．ホームページ、掲示板、Ｅメール 26
2．奨学金について 26
3．図書館 28
4．自転車の利用について 28
5．電車・バスの定期券、学割証 30

VII. 日常生活

1．ごみの出し方 31
2．銀行 33
3．携帯電話・国際電話 34
4．郵便・宅配便 35
5．自動車・オートバイの運転 36
6．交通事故にあってしまったら 37
7．物をなくしたとき 37
8．家族のこと 38
9．災害について 39
１０．特別な注意事項 41

生活に関する連絡先 42
千葉県の情報サイト 43
緊急時の連絡先 44
国際教育センター案内図 45

Contents <English>

I. International Student Support

1. International Support Desk (ISD) 46
2. Center for International Education (CIE) 48
3. International Student Division (*ryuugakusei-ka*) 48
4. Student Support Division (*gakusei-shien-ka*) 49
5. Career Support Division (*shushoku-shien-ka*) 49

II. Immigration formalities

1. Status of residence 51
2. Residence Card 51
3. Extension of period of stay 51
4. Leave of Absence 52
5. Remaining in Japan after graduation 52
6. Working part-time (*arubaito*) 52
7. Changing the status to “Student” 53
8. Matters to be reported to the Immigration Bureau (*Nyuukan*) 54

III. Housing

1. Resident resistration (*jumin-toroku*) 56
2. Moving and Leaving 56
3. Chiba University International House (CUIH) 58
4. *Kunpu-ryo* 58
5. UR apartment rooms 58
6. Rental accommodations 58

IV. Insurance

1. National Health Insurance (*kokumin kenko hoken*) 60
2. National Pension System (*kokumin nenkin*) 61
3. Personal Accident and Liability Insurance for Students (*Gakkensai-Inbound futai-gakuso*) 63

V. Medical assistance

1. In case of emergency 64
2. University Health Center 64
3. Hospitals and Clinics 65
4. Medical service at night and on weekends 65
5. Pharmacies 66

VI. Life at Campus

1. Website, Bulletin boards & Emails 67
2. Scholarships 67
3. Campus Libraries 68
4. Bicycles 68
5. Railway pass and student discount 70

VII. Daily Life in Japan

1. Garbage 71
2. Banking 72
3. Telephones 73
4. Postal and Courier Services 74
5. Driving in Japan 74
6. In Case of Traffic Accidents 75
7. Lost and Found 75
8. Family 76
9. Preparing for disasters 77
10. Warnings 78

Useful numbers 79
Websites offering information on Chiba 80
Numbers to call in case of emergency 81
Floor map of Center for International Education (CIE) 82

I. 留学生を支援する大学の機関

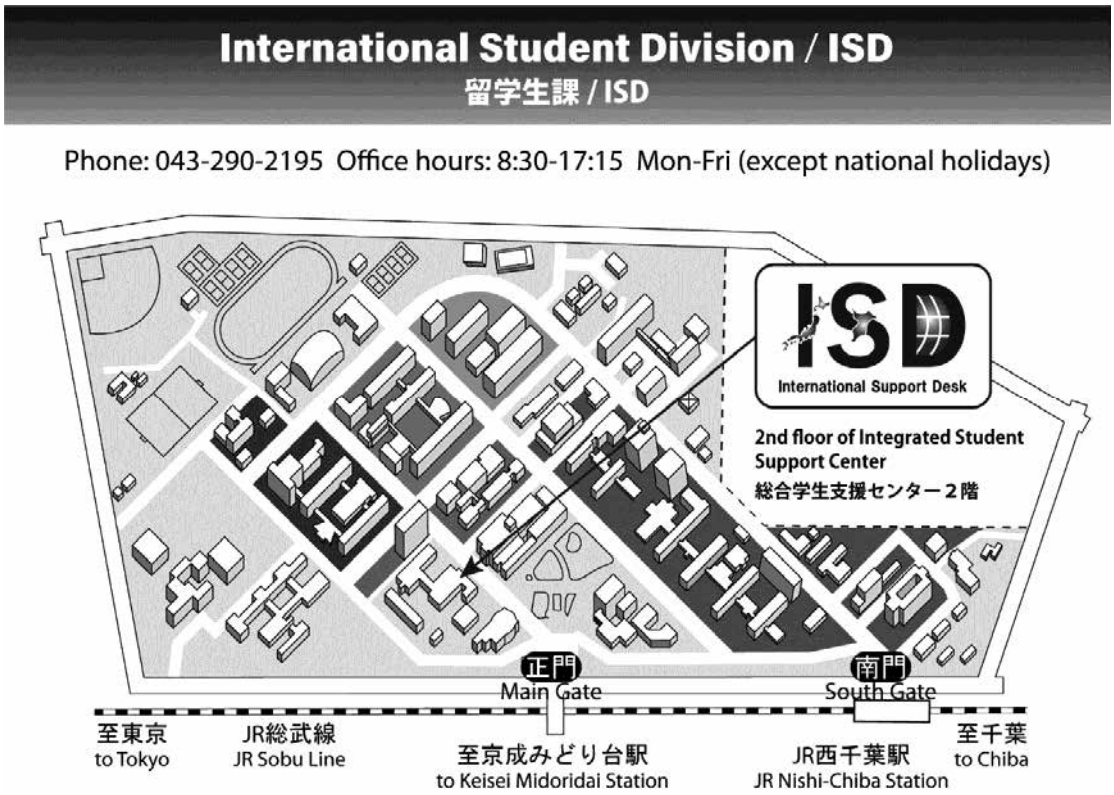
1．インターナショナル・サポートデスク (ISD)

isd@office.chiba-u.jp

https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/index.html

インターナショナル・サポートデスク (ISD) は、留学生や外国人研究者の皆さんが、問題なく毎日の生活を過ごせるようにサポートする窓口です。日常生活で困ったこと、学生生活でわからないこと、在留手続きに関する相談などがある場合には、ISD をたずねてください。

ISDの窓口は、西千葉、亥鼻および松戸キャンパスにありますので、みなさんのキャンパスの窓口を確認してください。

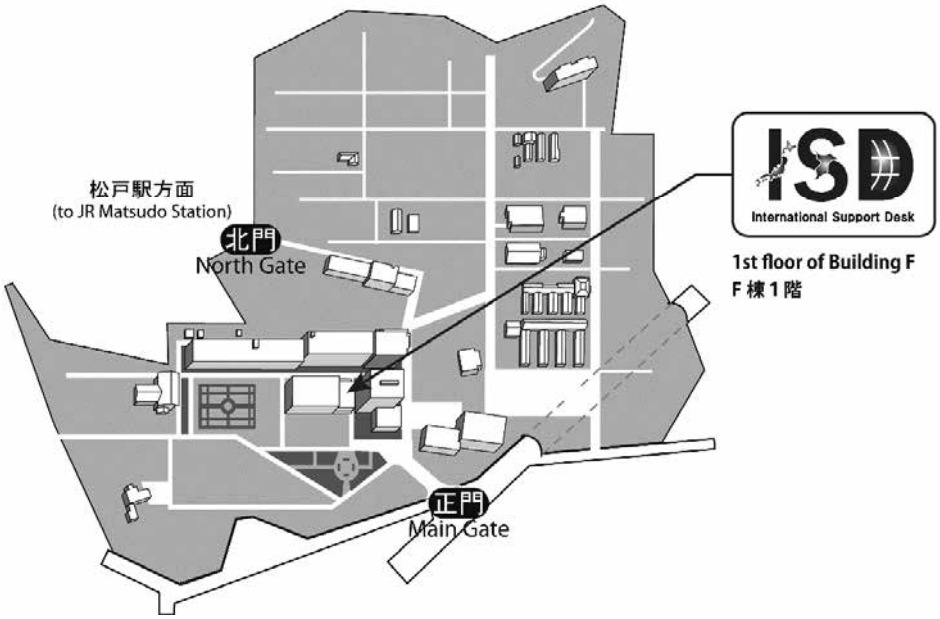


ISD Inohana Campus Branch
ISD 亥鼻ブランチ

Phone: 043-226-2761 Office hours: 9:00-16:00 Mon-Fri (except national holidays)

ISD Matsudo Campus Branch
ISD 松戸ブランチ

Phone: 047-308-8743 Office hours: 9:00-16:00 Mon-Fri (except national holidays)



2．国際教育センター (CIE: Center for International Education)

https://cie.chiba-u.ac.jp/

2－1．国際教育センターの活動

国際教育センターでは、留学生のための日本語コースや、留学生と日本人学生がお互いの理解を深めるために、下記のような様々なプログラムや活動の機会を提供しています。

①学部留学生向け普遍教育科目「日本語」「日本事情」、英語を用いた「ジャパニーズ・スタディーズ」、協働学習プログラムの授業

②短期留学生・研究生・大学院生などを対象とした日本語コース

③地域交流（日本人家庭の訪問を体験するホームビジット、地域活動への派遣など）

④CISG（千葉大学国際学生会）による交流活動

⑤海外派遣留学に関するガイダンスや選考

センター1階の掲示板には、日本語授業に関するお知らせをはじめ、地域交流イベントなどの案内を掲示しています。掲示板を見る習慣をつけて、大切な情報をのがさないようにしてください。

2－2．日本語支援室

開室時間：平日10:30-17:00（学校が休みの期間を除く）

国際教育センターの２階には「日本語支援室」があり、日本語学習に必要な教材やインターネット、プリンターが無料で利用できます。また、開室時間内は、学生チューターが常駐しており、日本語などのサポートを受けることもできます。チューターのスケジュールは、支援室入口に掲示しています。

2－3．国際教育センターを使う時の注意

①センターの正門玄関ドアは 17時で施錠します。17時以降は、裏口を利用してください。

②センター内は禁煙です。屋外でも、喫煙場所以外は禁煙です。

③センター内でごみを捨てるときは、ごみ箱に書かれている分別方法を守ってください。
リサイクルできる紙は、「ミックス古紙」の箱に入れてください。

④教室から出るときは、電気や冷暖房を消し、窓をきちんと閉めてください。

3．留学生課

https://www.chiba-u.ac.jp/global/sai/index.html

留学生に関わる事務をおこなっています（場所は、総合学生支援センターの 2階です）。
主な業務は、次の通りです。

主な業務：

① 私費外国人留学生奨学金に関する事
② 国費外国人留学生に関する事
③ 短期留学プログラム(J-PAC)に関する事
④ 国際交流会館（留学生寮）やその他の住居に関する事
⑤ 日本語授業に関する事
⑥ 派遣留学プログラムの申込

4．学生支援課

https://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/

千葉大学生（留学生を含む）の学生生活をサポートする業務をおこなっています。「学生支援プラザ」（イングリッシュ・ハウス隣り）に事務室があります。

主な業務：

①課外活動（サークル活動）に関する事
②入学料、授業料の免除および猶予の申請に関する事
（学費・経済支援について（千葉大学ホームページ））

https://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/payment/

③学生教育研究災害傷害保険（学研災）に関する事
④学生相談への対応
勉強、進路、就職、人間関係、生活についての悩みに対応する「学生相談室」を設置し、専門のカウンセラーが相談にのっています。
（「学生相談室」などについて（千葉大学ホームページ））

https://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/support/

⑤ハラスメント相談への対応
千葉大学では、すべての学生が尊重され、平等かつ安心できる学習・研究活動の場を確保できるよう取り組んでいます。学習や研究の場で、不快感、苦痛、不利益などを感じた場合に、相談を受けています。
（ハラスメント防止（千葉大学ホームページ））

https://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/harassment/index.html

5．就職支援課

https://www.chiba-u.jp/careercenter/

卒業後の就職についての情報提供やガイダンスなどの支援をおこなっています。学生支援課と同じ場所（学生支援プラザ）に事務室があります。

【あなたの身分は何ですか？】

留学生のみなさんは、①在留資格、②学籍、③もらっている奨学金によって、違った名前で呼ばれることがあります。

① 在留資格による呼び名

外国人留学生：在留資格「留学」により、日本に滞在を許可されている学生。

外国人学生：在留資格が「留学」以外で、日本国籍を持たない学生。

※「外国人留学生」を対象にする奨学金などには申請ができません。

② 学籍による呼び名

正規生：学部生，大学院生（修士・博士）

非正規生：研究生，専攻生，特別聴講学生，科目等履修生，特別研究学生，日本語予備教育生

③ 奨学金による呼び名

国費留学生：文部科学省奨学金を受給している留学生です。

日韓共同理工系学部留学生は、国費留学生であるとともに、「日韓生」とも呼ばれます。

外国政府派遣留学生：文部科学省が受入れに関する協力を行っている、マレーシア、タイ、シンガポール、アラブ首長国連邦及びサウジアラビア政府から奨学金を受給している留学生です。

出身国の政府から奨学金を受給していても、上記以外の国の場合には、外国政府派遣留学生に分類されません。

私費留学生：国費留学生及び外国政府派遣留学生以外の留学生です。

II. 在留に関する手続き

1．在留資格

外国人留学生として学習・研究活動を行うための在留資格は、原則として「留学」です。「留学」以外の在留資格でも在籍はできますが、その場合、留学生とはみなされません。そのため、国際交流会館（留学生寮）や留学生を対象とした奨学金には申請ができません。

2．在留カード

「在留カード」とは、日本に中長期的に滞在する外国人に交付されるカードで、本人の写真の他に、住所、国籍、在留資格、在留期間、資格外活動許可などが記載されるものです。はじめて日本に入国する外国人には、空港での入国審査時に交付されます。この**「在留カード」は、身分証明書として、いつも携帯する義務があります。**

そのほかの詳しいことについては、出入国在留管理庁のホームページを見てください。

3．在留期間

日本に合法的に滞在するために、自分の在留期間がいつまでかについては、必ず知っておきましょう。入国時に定められた在留期間を超えて、大学に在籍する場合には、在留期間の更新手続きを行わなければなりません。手続きは、在留期間の切れる3か月前から可能です。

そのためには、以下の書類が必要になります。また、日本に滞在するために十分な収入・貯金があることを証明する書類（奨学金受給証明書や銀行残高証明書など）提出も必要です。

①在留期間更新許可申請書（5枚1組）※
（申請者等作成用3枚）：申請者本人が記入します。
（所属機関等作成用2枚）：所属する学部・研究科（学府）の事務室に作成を依頼します。

②写真（縦4cm×横3cm）　1枚

③在学証明書

④滞在することができる収入や貯金があること（経費支弁能力）を証明できる書類

⑤[正規生の場合]：成績証明書
[研究生・専攻生の場合]：研究内容証明書
所属する学部・研究科（学府）の事務室に作成を依頼してください。
[特別聴講生・科目等履修生の場合]：聴講科目および時間数が記載された証明書
所属する学部・研究科（学府）の事務室に作成を依頼してください。

いずれの場合も、更新前に日本語学校に在籍していたことがある人は、修了証明書と出席・成績証明書も必要です。

⑥在留カード、パスポート、国民健康保険被保険者証
持っていき、見せる必要があります。
⑦奨学金受給証明書（受給者のみ）
⑧手数料：4,000円（収入印紙）

※①の申請書は、ISD ホームページからダウンロードができます。
https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/jp/visa/renewal.html

4．在留資格「留学」と休学

休学とは、勉学、研究活動を中断する行為であるため、勉学、研究活動を行うことを条件に滞在を認められている在留資格が「留学」の学生は帰国しなければなりません。

また、その帰国の際は、在留カードを空港で返納し、復学の際に改めて在留資格認定証明書を申請することになります。

より詳しい情報が必要な方は、ＩＳＤにお知らせください。

３か月にわたり授業への出席、勉学・研究活動をしていない留学生は、在留資格取り消しの対象となるため、大学から出入国在留管理庁へ報告することとなっています。

３か月以上授業への出席、研究活動ができなくなる可能性がある学生は、早めに指導教員、学部・研究科（学府）の事務室またはＩＳＤに相談してください。

4－2．日本から一時的に出国する場合

旅行や学会への参加などで、日本から出国しても、1年以内に戻ってくる（再入国する）場合は、出国する時に、自分の「在留カード」を見せて、「再入国出国記録」カード（出国審査場で記入する用紙）の「一時的な出国であり、再入国する予定です。」欄にチェックすれば、大丈夫です。（これを、「みなし再入国許可」とよびます）。

（みなし再入国許可（法務省ホームページ））
https://www.moj.go.jp/isa/content/930002124.pdf

しかし、日本から出国後から1年までに在留期限が切れる場合には、それまでに日本に戻ってくる必要があります。そうしない場合には、出国前に認められていた在留資格での入国はできなくなります。

また、1年以上戻らない場合は、日本を出国する前に、出入国在留管理局に「再入国許可」

を申請し、許可を受けておく必要があります。そのために必要な書類は、法務省ホームページからダウンロードができます。

（再入国許可申請（法務省ホームページ））
https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/16-5.html

5．卒業・修了後の在留資格

在留資格「留学」は大学などの学校に学生として在籍している間のみ有効です。在留期間が残っていても、卒業・修了や退学などにより千葉大学から籍がなくなった後は速やかに帰国し、在留カードを空港で返納してください。

帰国せず日本に引き続き滞在する場合は、活動に見合った在留資格に変更することが必要です。詳しくは、ISDホームページで案内をしていますので、必ず確認をしてください。

（卒業後の在留資格（ISDホームページ））
https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/jp/visa/capacity.html

6．資格外活動許可（アルバイトなど）

6－1．資格外活動のルール

留学生は、日本の学校で教育を受けるため、「留学」の在留資格で滞在が許可されています。したがって、アルバイト（労働）をしたいときは、その前に出入国在留管理局に申請し、「資格外活動許可」を取る必要があります。しかし、これは、「留学」という本来の「資格」以外の活動になりますので、留学中の学費や生活費を補う場合に限られます。

◎千葉大学で、TAまたはRA等として働き、収入を得る場合については、「資格外活動許可」を受ける必要はありません。

◎風俗関連業（青少年の立ち入りが禁止されているような店）でのアルバイトは禁止されています。そこで働いた時は、国外退去になる場合もありますので、十分注意してください。

◎アルバイトができる時間には、次のとおり制限があります。

1週間（7日間）に28時間以内。

ただし、大学の長期休業期間には、1週間に40時間以内（1日8時間以内）まで、認められる。

※長期休業期間は、夏季休業、冬季休業、春季休業、臨時休業があります。所属毎、年度毎に期間が異なりますので、所属する学部・研究科（学府）の学年暦・授業カレンダーで確認してください。

6－2．資格外活動許可の申請

あなたが現在住んでいる地域を管轄する出入国在留管理局で、申請します。申請書はISDホームページに掲載しています。申請書のほかには、パスポート、在留カードおよび学生証を見せる必要があります。

（Immigration Documents（ISD ホームページ））
https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/jp/visa/parttime.html

6－3．アルバイトについての注意事項

①資格外活動許可を取った人は、パスポートと在留カードを持って、自分の所属している学部、研究科（学府）の事務室に報告をしてください。

②在留期間を更新・在留資格を変更した場合には、新しく資格外活動許可を取り直す必要があります。

③**資格外活動許可を受けていても、「休学」した時は、アルバイトができません。**

④卒業した場合は、「留学」の資格が無くなるので、在留期限がまだ残っていたとしても、帰国までの間に、アルバイトをすることはできません。

⑤知らないうちに犯罪に巻き込まれるようなアルバイトもあります。自分が注文していない商品を、誰かの代理で受け取ったり、他人の銀行口座から現金を引き出すなどのアルバイトは犯罪になりますので、気をつけてください。

⑥アルバイトをするときは、契約内容を確認し、トラブルにならないように気を付けましょう。

賃金、労働時間などでトラブルになった時の相談窓口があります。
英語でも相談できます。
外国人労働相談コーナー（千葉労働局）
電話：043-221-2304
火曜、木曜 午前９時30分から午後５時まで

７．在留資格を「留学」に変更する場合

申請は、住居地を管轄する出入国在留管理局または出張所でしかできません。千葉に住んでいる人は、東京出入国在留管理局（品川）、また千葉出張所でも申請ができます（８．出入国在留管理局 参照）。その場合には、以下の書類が必要になります。それ以外の書類の提出を求められる場合もあります。
※尚、短期滞在から留学への変更はできません。ご質問はISDまで。

①在留資格変更許可申請書（5枚1組）※
（申請者等作成用3枚）：申請者本人が記入します。
（所属機関等作成用2枚）：所属する学部・研究科（学府）の事務室に作成を依頼します。
②写真（縦4cm×横3cm） 1枚
③合格通知書、入学許可証明書または入学許可証の写し
④在留カード、パスポート、国民健康保険被保険者証
⑤滞在することができる収入や貯金があること（経費支弁能力）を証明できる書類
⑥手数料：4,000円（収入印紙）

※①の申請書は、ISDホームページからダウンロードができます。
（Immigration Documents（ISD ホームページ））
https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/jp/visa/change.html

８．出入国在留管理局（入管）に届ける必要があること

https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/jp/visa/report.html

在留資格や在留期間以外のことにも、出入国在留管理局に必ず届け出をしなければいけない事項があります（以下の（1）～（3）など）。

届け出をしなかったり、決められた期限を守らなかった場合には、罰金などの処分を受けることがありますので、十分に注意をしてください。

「締切りがあったことを、知らなかった」などの理由で許されることはありません。在留するために必要な情報は、自分できちんと、集めるようしてください。

なお、出入国在留管理局に届け出た事項については、所属する学部・研究科（学府）の事務室にも、必ず報告をしてください。

（1）氏名や国籍などの変更

結婚などにより、氏名や国籍などが変わった場合は、14日以内に届け出が必要です。

（2）在留カードの再交付

在留カードを失くしたり、壊れたり、盗まれてしまった場合には、その事実がわかった日から 14日以内に届け出が必要です。

（3）学生でなくなるとき・他の大学にうつるときなど

卒業・修了や退学などにより、千葉大学から学籍がなくなるとき、また、他の大学に転学したり進学したりする場合、14日以内に届け出が必要です。

ただし、卒業・修了などの後、すぐに帰国する場合には、空港の出国審査時に在留カードを返納すれば、この手続きをする必要はありません。

以上の届け出を行わないと、罰則の対象となります。

届け出は法務省出入国在留管理庁ウェブサイトから、オンラインで出来ます。また、郵送や持参の方法は ISD にお問い合わせください。

８－２．出入国在留管理局（入管）の場所

在留資格の変更、在留期間の更新、資格外活動許可の申請は、あなたが住んでいる地域を管轄する出入国在留管理局でする必要があります（千葉県に住んでいる人は、東京出入国在留管理局（品川）の他に、千葉出張所でも手続きができます）。

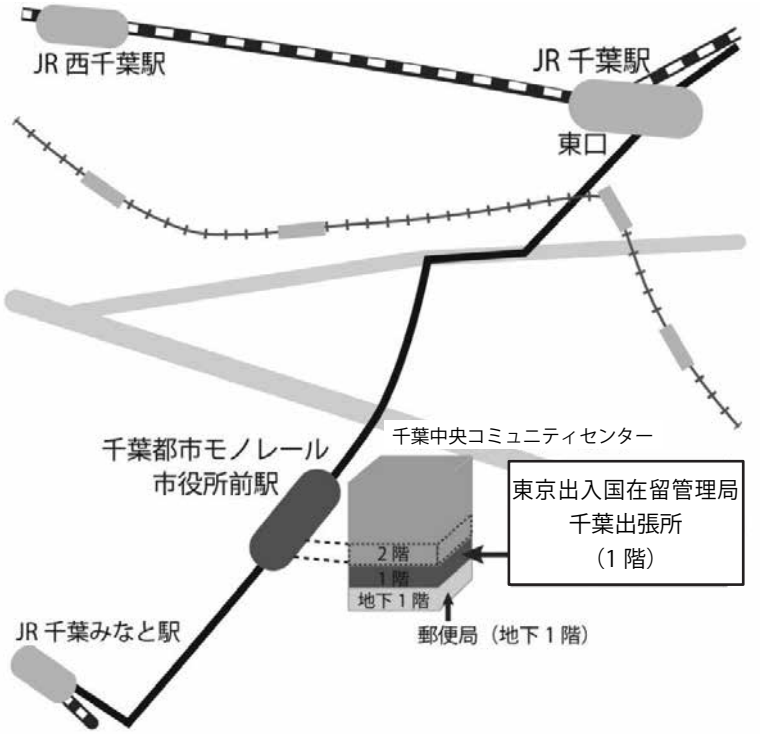
A. 東京出入国在留管理局　千葉出張所

住　　所：千葉市中央区千葉港2-1　千葉中央コミュニティーセンター1階

電　　話：043-242-6597

受付時間：平日 9:00-15:00（感染予防対策のため、当分の間）

行 き 方：JR千葉駅から、千葉都市モノレール線・千葉みなと行きに乗り、ひとつめの「市役所前駅」で降ります。改札を出たら左に進み、歩道橋を渡ると中央コミュニティーセンターの2階につながっています。千葉出張所は、1階です。地下には郵便局があり、申請に必要な収入印紙を買うことができます。



B. 東京出入国在留管理局（品川）

住　　所：東京都港区港南5-5-30　　電　　話：0570-034259

受付時間：平日 9:00-16:00

行 き 方：JR品川駅からバスで 15分程度です。詳しくは、ホームページを見てください。

（東京出入国在留管理局へのアクセス）

https://www.moj.go.jp/isa/content/930002234.pdf

III. 住まいに関すること

1．住民登録

在留カードを交付された外国人は、日本人と同様に、市区町村に「住民登録」をする必要があります。住民登録には、氏名、生年月日、住居地、また国民健康保険加入者歴などが登録されます。

初めて日本に入国した外国人は、住所が決まってから14日以内に、住居地がある市役所・区役所に、住民異動届を提出しなければなりません。また、引っ越しをして住所が変更になる場合にも、14日以内に届け出が必要です。

携帯電話を購入する時などに、身分を証明する書類のひとつとして「住民票」または「住民票記載事項証明書」（住民票に記載される情報のうち、必要な項目のみを記載した証明書）の提出が求められた場合には、自分が住んでいる市・区役所で、交付を申請してください。住民票1通につき、300円程度の手数料がかかります。

住民登録に必要なもの：パスポート・在留カード

※マイナンバー（個人番号）
マイナンバーは、日本の社会保障・税番号です。日本に中長期滞在する外国人にもマイナンバーが発行されます。封筒でマイナンバー（個人番号）「個人番号通知書」が自宅に届きます。このカードは、引っ越し、帰国の際に必ず提示を求められます。また再発行には大変な手間がかかりますのでなくさないようにしてください。マイナンバー制度については、ISDのホームページを確認してください。

2．引っ越し・退去をするとき

引っ越し・退去をする時には、様々な届け出が必要になります。また、引っ越しの時には、日本社会のルールを守り、新しい環境での生活を気持ちよく始められるように心がけましょう。

2－1．届け出が必要なこと

（1）市役所・区役所への届け出

今住んでいる地域の役所に「住民異動届」を出し、引っ越しの場合は「転出証明書」をもらいます。引っ越した後、14日以内に、新しい住所の役所に、「住民異動届」と「転出証明書」を出してください。また、在留カードと国民健康保険被保険者証とマイナンバーカード（個人番号カード）または個人番号通知書を忘れずに持っていってください。

（2）大学への届け出

新しい住所と連絡先を、所属する学部・研究科（学府）の事務室に出してください。

また、学生ポータルにログインし、新しい住所と連絡先を更新してください。

（3）生活に関する届け出

ガスなどを解約・新規契約する場合には、引っ越しの1週間前までには連絡するようにしましょう（業者が立ち会う場合もあります）。

なお、東京電力では、電気だけでなく、ガス、水道の引っ越し手続きもまとめてできる、「引越れんらく帳」という便利なサービスも提供しています。

［引越れんらく帳（東京電力サイト）］
https://www.hikkoshi-line.com

連絡先	連絡方法
東京電力	電話、FAX、インターネット http://www.tepco.co.jp/ep/private/moving/moving02.html
東京ガス	電話、インターネット https://home.tokyo-gas.co.jp/procedure/moving/index.html
水道局	電話、インターネット （千葉県水道局）http://www.pref.chiba.lg.jp/suidou/faq/002.html
郵便局	窓口、転居届の郵送、インターネット https://www.post.japanpost.jp/question/100.html
銀行、クレジットカード、携帯電話	窓口、電話

2－2．引っ越しをする時の注意

入居や退去をする時は、ルールや期限を必ず守りましょう。特に、とても大切なことを、下にまとめました。あなたは千葉大生であると同時に、あなたの国の代表者としても見られています。責任ある行動をしてください。

（1）入居するとき

① 大家さんなどの管理者と、隣や上下階の住人にきちんと挨拶をしましょう。

② 早朝や夜間の引っ越しは、控えましょう。

③ 早朝や夜間に洗濯をしたり、大きな音や声を出すなど、隣近所に迷惑となるようなことは止めてください。

④ 新しい住所の「ごみ出しのルール」を確認して、必ず守ってください。「住民異動届」を役所に出す時、その地域の「ごみの出し方」の説明書をもらいましょう。

（2）退去するとき

① 契約書で定められた期限までに、退去する日を大家さんに伝えてください。

② 部屋を入居した時と同じ状態にすることが必要です。家具やごみを置いたままで退去する事はできません。

また粗大ごみ（家具や電化製品）を捨てる場合、いつもと違う処理が必要になります。事前に電話またはインターネットで申し込みをして、必要な費用と同額の券をコンビニなどで買い、それを粗大ごみに貼って捨てます。詳しくは、各自治体のホームページなどで確認をし、ルールに従って適切に処分してください。

［千葉市　粗大ごみの出し方（千葉市ホームページ）］
https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/shushugyomu/sodaigomi.html

［松戸市　粗大ごみ（松戸市ホームページ）］
https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/gomi_shinyou/wakekatadashikata/sodaigomi/index.html

③ 自転車は必ず粗大ごみとして処分してください。
（友達に譲る場合は、自転車店で防犯登録の取消をしなければなりません。）

④ 大家さんなどの管理者と、隣近所にきちんと挨拶をしましょう。

⑤ 電気、ガス、水道の使用料の未払いが無いように、手続きを済ませてください。

3．千葉大学国際交流会館

https://www.chiba-u.ac.jp/global/sai/dorm.html

千葉大学国際交流会館は、千葉大学に在籍する留学生のための寮です。A～E の 5棟に、単身室が 180戸、夫婦室24戸、家族室14戸があります。場所は、JR稲毛駅から歩いて約10分の距離にあって、近くにはコンビニや図書館などもあり、便利です。西千葉キャンパスへは、自転車で 10分程度、電車を使うと 20分くらいで行くことができます。

入居できる期間は、「半年」または「1年間」で、千葉大学に在籍している間に、原則として1回だけ入居できます。また、入居の時期は原則として、4月または 10月です。
入居の申請方法や期間などは、留学生課ホームページ（URL は上記）でお知らせします。

なお、夫婦室や家族室への入居には、婚姻関係を証明する書類および在留カードのコピーが必要です。また、同居する家族の在留資格が「短期滞在」の場合は、入居は認められません。

国際交流会館に入る時には、「入居案内」をよく読み、規則を必ず守ってください。特に、周

りの部屋を困らせるような行為や、国際交流会館の近隣の住宅に迷惑をかける行為は、絶対に止めてください。コミュニティーホールやミーティングルームなどの共有スペースでの飲酒・喫煙も禁止されています。

4．薫風寮

日本人学生と一緒に生活できる千葉大学の寮です。

・単身室29室が留学生の居住できる部屋です。
・場所は国際交流会館と同じ JR 稲毛駅から歩いて 10分程度の距離です。
・トイレ、シャワー、キッチンは共有です。
・入居できる期間は「1年間」または「2年間」です。
・年２回、募集の案内を留学生課のホームページでお知らせします。

5．大学が紹介する宿舎

https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/jp/housing/search.html

「ＵＲ都市機構」の賃貸住宅の紹介

千葉大学では、留学生への住居支援として、「UR都市機構」が所有している千葉市中央区幸町団地と千葉市美浜区高洲第一団地の一部を、千葉大学の留学生用に借りています。そして、そこに住む留学生が、地域社会と交流して、お互いの理解を深めていくことも、目的にしています。そのため、入居する留学生には、自治会への加入や地域活動への参加などに、積極的に取り組んでもらうようお願いしています。

入居契約期間は原則として、2年間です。間取りは、2DK（2部屋+ダイニングキッチン）と 3K（3部屋+キッチン）があります。家賃は部屋の広さや階数により異なりますが、2DK で１か月45,000円程度です。夫婦・家族での入居もできます。また、千葉大学の留学生同士であれば、ルームシェアも可能です。

入居者の募集は、留学生課ホームページおよび掲示板で知らせます。なお、面接などによる選考をしますので、応募したすべての人が入居できるとは限りません。不明な点は、ISD へ問い合わせてください。

6．民間のアパートなど

6－1．アパートを探すとき

国際交流会館の部屋数は多くないため、留学生の多くは民間のアパートに入ることになります。最近は、インターネットで物件を調べることもできますが、契約する時は、不動産会社

に行く必要があります。しかし、日本語しか通じない会社も多いので、不安な場合は、日本語のわかる人と一緒に行くのが良いでしょう。

なお、千葉大学生協でも、西千葉、亥鼻および松戸キャンパス周辺の物件情報をウェブサイトで提供していますので、こちらも利用してください。

［生協でアパート・マンション探し！］　https://cbucoop.com/

また、千葉県では、県内に在住を希望する外国人学生に住居情報の提供や助言を行う「外国人学生住居アドバイザー」事業を行っています。

https://www.pref.chiba.lg.jp/kokusai/soudan/gaikokujin/gakuseijuukyo.html

６－２．アパートを借りる契約するとき

民間のアパートを契約するときには、次のようなお金が必要になります。

・礼　金...　アパート管理者（大家さん）へ支払う謝礼。（家賃の 1～2 か月分）

・敷　金...　預け金として支払うもの。退去する時には、部屋の修繕費などを差し引いて返却されることが多い。（家賃の 1～2 か月分）

・仲介料...　不動産会社に支払う手数料。（家賃の 1 か月分）

６－３．契約する時の保証人について（機関保証制度）

民間のアパートを契約する場合、日本に住んでいる親族などに「連帯保証人」として契約書にサインをしてもらう必要があります。

千葉大学では、大学が連帯保証人となる「機関保証制度」をおこなっています。この制度では、日本国際教育支援協会 (JEES) が運営する「留学生住宅総合補償」に留学生本人が加入することを条件に、千葉大学（留学生課長名義）が「アパート入居保証書」に署名をすることで、連帯保証人の役割を果たすものです。

この制度の申し込みは、西千葉キャンパスの人は留学生課、亥鼻・松戸キャンパスの人は ISD の窓口でできます。なお、「アパート入居保証書」の発行には、約1週間かかるので、時間に余裕をもって申請してください。詳しい手続きの流れについては、留学生課ホームページでも案内しています。

Ⅳ. 保険について

１．国民健康保険

日本には、医療費の負担を軽くするための国民健康保険制度（国保）があります。在留カードを交付され、日本に滞在している外国人（留学生も含む）は、すべて加入する必要があります。

健康に自信があっても、病気やけがによって治療を受けた場合、国民健康保険に加入していないと、高額の医療費が請求されることになります。

しかし、加入していると、病院などの窓口で支払う金額は、原則としてかかった医療費の 30%ですみます。

国民健康保険の保険料はきちんと支払い、滞納などにより、補助がなくならないようにしましょう。

１－１．保険の使い方

病院で診察を受ける時に、窓口で国民健康保険被保険者証（保険証）を出してください。保険を利用した受診料で計算がされます。しかし、保険証を忘れると、医療費の全額が請求されることがありますので気を付けてください。

なお、次の場合は、国民健康保険は適用されないため、全額を自分が払う必要があります。

> 健康診断、人間ドック、予防接種、美容整形、けんかや泥酔による病気やけが、
> 正常分娩、病気以外の理由による人工中絶、勤務中の負傷（１－４参照）

１－２．保険料の軽減

保険料は、前の年の収入（所得）によって金額が決められます（住んでいる自治体によって、金額が違う場合があります）。「収入が無い」「収入が少ない」と説明すると、保険料が安くなります。これを、「保険料の軽減」といいます。留学生の場合、アルバイト収入程度であれば、通常は、軽減を受けることができます（なお、奨学金は所得には含まれませんので、ご安心ください）。

この軽減を受けるためには、毎年1月から 3月の間に「国民健康保険料用所得申告書」を役所に出す必要があります。留学生課には、千葉市の申告書を置いています。

松戸市に在住の方は、毎年2月から 3月の間に、松戸市役所にて「市県民税」の申告を行ってください。

１－３．加入方法

市役所・区役所に住民異動届を出す時、一緒に加入の手続きができます。その時に、保険料

を支払う必要はありません（１－２．保険料 参照）。加入すると、その場で「国民健康保険被保険者証（保険証）」が交付されます。役所で加入の手続きをすると、数週間後に、保険料の納付書が郵送されてきます。千葉市の場合、1年間の保険料を 10回（10期）に分けて、支払いができるようになっています（支払いは、銀行やコンビニでできます）。それぞれの支払期限に遅れないようにしてください。

１－４．帰国のとき

留学を終えて帰国する時には、役所で保険の脱退手続きをしてください。その時、保険料を多く払い過ぎていれば、返金してもらえます。これを保険料の還付といい、帰国日の約1ヶ月前から手続きが出来ます（松戸市は 2週間前）。還付金が支払われるまで 3～4日かかりますので、余裕をもって手続きしてください。

この手続きには、帰国を証明するもの（航空券やＥチケットの控えなど）が必要です。脱退手続きをしないと、帰国後も保険料を請求されることになるので、必ず手続きをしてください。

また、併せて「転出」の届けをして下さい。

（帰国する前にしておくこと（ISD ホームページ））
https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/jp/preparation.html

１－５．アルバイト中に負傷（ケガ）などをした場合

アルバイト中の事故などによる負傷は、労災（労働災害）となり、国民健康保険は使わずに、治療費は全額を国が負担することになるため、、別の手続きが必要となります。

労災で病院に行く時は、そこが「労災指定病院」※であることを確認し、必ず労災であることを伝えてから、診療を受けてください。

もしも、「労災指定病院」でないところで、診療を受ける場合にも、「労災である」と伝えてください。そして、この場合は、国民健康保険が使えないため、医療費の全額をいったん支払うことになります。しかし、後から「労働基準監督署」に医療費の返金（還付）を請求することができます。なお、その場合には、診療を受けた病院に書類を作成してもらうことが必要となります（文書作成のため、1,000円～5,000円の手数料を請求されます。また、返金されるまで、かなりの日数がかかるので、注意してください）。

※「労災指定病院」とは、「労災」の治療費を、受診者が負担しなくてよい病院です。

２．国民年金

日本国内に居住している20歳以上60歳未満の方は、国民年金の被保険者となります。

外国籍の方でも、日本で住民登録の対象となる人（在留カードが発行されている人）は、国民年金に加入する義務があります。

参考ウェブサイト：日本年金機構　https://www.nenkin.go.jp/index.html

２－１．加入方法

・20歳になる前に日本へ入国した人

20歳になった方には、日本年金機構から「国民年金加入のお知らせ」が届きます。

・20歳になった後に日本へ入国した人

住民登録手続きをした後に、市・区役所や最寄りの年金事務所にて加入手続きをします。

２－２．保険料の支払いが困難なとき

（１）正規生：学部生、大学院生（修士・博士）

「学生納付特例制度」を利用

申請により在学中の保険料の納付が猶予される制度です。申請は毎年する必要があります。

https://www.nenkin.go.jp/service/kokunen/menjo/20150514.html

（２）非正規生：研究生、専攻生、特別聴講学生、科目等履修生、特別研究学生、日本語予備教育生

「①保険料免除制度」もしくは「②保険料納付猶予制度」を利用

https://www.nenkin.go.jp/service/kokunen/menjo/20150428.html

① 保険料免除制度

国民年金保険料を納めることが経済的に困難な場合は、申請書を提出し、申請後に承認されると保険料の納付が免除になります。免除される額は、全額、4分の3、半額、4分の1の4種類があります。

② 保険料納付猶予制度

20歳から50歳未満の方で、本人・配偶者の前年所得（1月から6月までに申請される場合は前々年所得）が一定額以下の場合には、申請書を提出し、申請後に承認されると保険料の納付が猶予されます。

２－３．卒業後の手続きについて

（1）帰国するとき

市・区役所で海外への転出届の手続きをし、日本に住所がなくなると、国民年金の被保険者資格を喪失します。

国民年金を６か月以上納付した人が日本を出国した場合、日本に住所を有しなくなった日から 2年以内に脱退一時金を請求することができます。

https://www.nenkin.go.jp/service/jukyu/sonota-kyufu/dattai-ichiji/20150406.html

（2）就職するとき

会社などに就職して、厚生年金保険等に加入する場合、加入の手続きは、勤務先を通して行なわれますが、その際に「基礎年金番号」が必要になります。

https://www.nenkin.go.jp/service/kounen/tekiyo/hihokensha1/20150422.html

https://www.nenkin.go.jp/service/seidozenpan/20131107.html

※母国の年金制度との連携：社会保障協定についてはこちら

https://www.nenkin.go.jp/service/shaho-kyotei/20141125.html

３．学研災・インバウンド付帯学総（授業や研究中の保険）

千葉大学の学生は全員（正規生・非正規生を問わない）傷害や賠償に関する２つの保険に入る必要があります。

３－１．補償範囲

「学研災」は授業・研究活動中、学校行事やクラブ活動中、また大学から正式に依頼を受けた活動中や通学中に事故にあい、負傷などをした場合に支払われます。

「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）」は、大学における正課活動だけでなく、日常生活において生じるケガ、病気、他人への賠償事故を補償します。

【例1.】大学から自宅への帰宅中に駅で転倒し、骨折し、手術・入院をした。
⇒負傷の程度や後遺症の有無、入院期間などによって、保険料が支払われます。

【例2.】学生が入院し、保護者が駆けつけた。
⇒救援者費用が支払われます（上限300万円）。

３－２．加入方法・保険料

「入学手続き等の手引き」の中の「学校教育研究災害傷害保険等について」および「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険について（インバウンド付帯学総）」に、保険料の振込用紙がついていますので、郵便局で支払いをしてください。

３－３．事故がおきたら

もし事故などがおき、この保険が適用できると思う場合には、所属する学部・研究科（学府）の事務室にまず相談をしてください。

V. 病院について

1．緊急のとき

あなたや、あなたの周りの人が、急病や事故にあった時には、すぐに救急車を呼びましょう。**電話番号は 119 です。**その際、助けが必要な人がいる場所（住所や目印となる建物など）と、どのような症状であるかを正確に伝えてください。

2．大学内のクリニック

学生保健部（正式な名前は、「総合安全衛生管理機構　学生保健部」）は、西千葉、亥鼻、松戸の３キャンパスに診療室をおき、学生や教職員の健康に関するあらゆる相談を受け付けています。

ケガをしたときの応急処置、気分が悪い時の診察だけでなく、薬を無料でもらうことが出来ます。また、近くにある病院の紹介もおこなっていますので、身体に不安がある時には訪ねてください。

2－1．場所と診療時間

（1）西千葉キャンパス

https://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/sisetu/nishichiba.html
場所：総合安全衛生管理機構（国際教育センターとなり）
電話：043-290-2214
受付時間：平日 9:30 – 11:00, 13:00 – 15:50
診察予定表：https://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/cont/cont-1/cont-1_yotei.html

（2）亥鼻キャンパス

https://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/sisetu/inohana.html
場所：医学系総合研究棟3階
電話：043-226-2821
受付時間：平日 9:00 – 16:00（昼休みは休診）
診察予定表：https://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/cont/cont-1/cont-1_yotei_inohana.html

（3）松戸キャンパス

https://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/sisetu/matsudo.html
場所：緑風会館1階
電話：047-308-8731
受付時間：平日 9:00 – 16:00（昼休みは休診）
診察予定表：https://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/cont/cont-1/cont-1_yotei_matudo.html
第２週火曜日と第４週火曜日のみ医師が在室し、それ以外の日は薬をもらうことはできません。

２－２．定期健康診断

毎年4～6月に、学生すべてを対象とした定期健康診断があります。これは、学生の健康と学内の保険管理を目的として行われ、結果によっては、個別の医療指導や精密検査を実施します。学部・研究科（学府）の掲示板などで実施する日程を確認し、必ず受けてください。

10月入学の学生には、入学後に留学生特別健康診断があります。こちらは、事前に学部・研究科（学府）の事務室で申し込まないと、受診できません。

なお、これらの健康診断を受けておくと、受験や就職などに提出するための「健康診断証明書」を無料で出してもらう事ができます。

２－３．心の悩みがあるとき（メンタルヘルス相談）

学生保健部では、専門のカウンセラーなどが、精神的な問題についての相談も受けています。気分が落ち込む状態が続いたり、心の健康状態が良くないと思う時には、気軽に相談してください。相談内容や個人の秘密は厳守されますので、安心してください。

相談室の時間や担当者については、ホームページで確認してください。

（学生のメンタルヘルス相談（総合安全衛生管理機構ホームページ））

https://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/cont/cont-3_gakusei.html

（松戸キャンパス学生相談窓口（園芸学部ホームページ））

http://www.h.chiba-u.jp/campus_life/counsel/index.html

（亥鼻キャンパス学生相談室（千葉大学ホームページ））

http://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/support/inohana_counsel.html

３．民間の病院

日本には、専門の診療科のみの小さな病院〈診療所、（クリニック）〉と、入院や手術、リハビリなどの設備があり複数の診療科を備えた大きな病院〈総合病院〉があります。

〈総合病院〉の受診には、予約が必要なため、診療所などからの紹介状を持っていかないと「選定療養費」（5,000円～）が、治療費に加えて請求されることがほとんどです。千葉大学の学生保健部でも、紹介状を作成しますので、緊急でない場合には、まずそこで受診し、相談するとよいでしょう。

なお、日本の医療機関では、日本語以外の言語で診療を受けることが難しい事があります。言葉に不安がある場合には、ボランティアの医療通訳を手配することができますので、ISD に相談してください。

また、病院を受診する際には、必ず、国民健康保険被保険者証と現金を用意しましょう。総合病院ではクレジットカードで支払いができるところもありますが、現金でしか支払うことができない病院も多いです。

4．夜間・休日に病院に行きたい時

緊急の場合は、すぐに救急車を呼びましょう。**電話番号は 119** です。

緊急ではなく、医療機関で診察を受けたい場合は、住んでいる市区町村のホームページなどから、休日・夜間でも診察をしている病院を探してください。

千葉市、松戸市、柏市の場合は、以下を参考にしてください。

（休日救急診療所（千葉市ホームページ））

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seisaku/kyujitusin.html

（夜間応急診療（千葉市ホームページ））

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seisaku/yakyusin.html

（松戸市／まつどし　夜間や休日に急病になったとき（松戸市ホームページ））

https://www.city.matsudo.chiba.jp/iryoutoshi/kyubyou-saigai/kyuukyuuiryoutaisei.html

（柏市／かしわし　夜間の急病（柏市ホームページ））

https://www.city.kashiwa.lg.jp/chiikiiryo/hokennenkin/kyuubyou/kyubyo/yakan.html

5．薬を買いたい時

風邪など軽い病気の場合は、薬局で薬を買うこともできます。ただし、薬局のアドバイスを聞き、薬に付いている注意書きをよく読んでから、薬を服用ください。

なお、病院が作成する処方箋を使わずに薬を買う場合には、国民健康保険は適用されません。

VI. 大学での生活

1．ホームページ、掲示板、Ｅメール

留学生に向けた大切なお知らせは、必ず大学（留学生課、国際教育センター、ISD各学部・研究科（学府）など）のホームページに掲載され、また、掲示板（国際教育センターや各学部・研究科（学府）などの掲示板）に必ず貼りだされます。

「重要な情報なのに、教えてもらわなかった」、「知らなかった」という理由で、申し込みが遅れても、一切、受け付けはしません。定期的にホームページや掲示板を確認し、重要な情報や機会を失うことがないように努めてください。

また、こうしたお知らせは、みなさんが大学に登録をしているメールアドレスに届くこともあります。日本から離れた外国でも受信できるメールアドレスを登録するようにしてください。

なお、メールアドレスを変更した場合には、学部・研究科（学府）の事務室にも届け出をしてください。指導教員の先生にも、報告をしましょう。

2．奨学金について

大学推薦が必要な奨学金に申し込むには、「私費外国人留学生奨学金登録」を、事前におこなっている必要があるので、注意ください。**登録は年に一度、毎年しなければいけません。**

2－1．私費外国人留学生奨学金登録

奨学金に応募したいと考えている人は、必ず登録をしてください。登録者の情報は、在籍年次、成績、授業料免除の状況などに従って順位付けされ、奨学金の応募希望者が多かった場合に、推薦順位を決定する際の参考とします。

登録の時期や方法は、留学生課のホームページや掲示板でお知らせします。特別な理由で登録ができない場合には、**必ず事前に**、留学生課に相談をしてください。

２－２．大学推薦が必要な奨学金に応募するには

私費外国人留学生奨学金登録（２－１参照）をしただけで、奨学金がもらえるわけではありません。留学生課のホームページや掲示板を見て、自分が申し込むことが可能な奨学金の募集があった時に、ISD窓口にて手続きをしてください。応募希望者が複数になった場合には、学内推薦基準に基づいて、推薦者と推薦順位を決定します。推薦者に選ばれた人は、奨学金財団が指定する申請書類を作成し、大学（留学生課）を通して応募します。

【 大学の推薦が必要な奨学金に応募するまでのながれ 】

1
私費外国人留学生奨学金登録
毎年、登録をおこない、大学の推薦が必要な奨学金への応募資格を得る。

2
応募可能な奨学金の確認
留学生課ホームページや掲示板で、奨学金の募集情報を定期的に確認する。

3
奨学金申請
応募可能な奨学金があれば、留学生課窓口で所定期間内に申請をする。

4
推薦者の選考（大学）
３の申請者の中から、学内推薦基準に基づき、推薦者及び推薦順位を決定。

5
奨学金への応募
４で推薦者に選ばれた者は、申請書類を作成し、千葉大学を通して応募する。

２－３．問い合わせ先

私費外国人留学生奨学金に関する質問は、下記に連絡をしてください。

（留学生課・私費外国人留学生奨学金担当）
電話：043-290-2199
Email: intl-scholarship@chiba-u.jp
奨学金情報掲載ページ　http://www.chiba-u.ac.jp/global/sai/#scholarship

ただし民間奨学金の中には、直接応募のものもあります。その場合は登録は不要です。

３．図書館

http://www.ll.chiba-u.ac.jp/

千葉大学の図書館は、西千葉キャンパスに本館が、亥鼻キャンパスと松戸キャンパスにも分館があります。図書館を利用したり本を借りるときには、学生証が必要です。また、図書館のホームページ（上記）からは、蔵書や電子ジャーナルなどの検索、予約、貸出期間の延長、他の大学図書館からの文献取り寄せなどができます。

なお、図書館内のパソコンを利用するためには、大学（統合情報センター）が発行するIDとパスワードが必要です。学部生・大学院生は、入学した後に、IDとパスワードが通知されます。しかし、研究生や短期留学生は、ID・パスワードを自分で申請する必要があります。詳しくは、所属する学部・研究科（学府）の事務室で確認してください。

図書館の開館時間は、以下のとおりです。臨時休館や学校が休み中の開館時間については、上記ホームページで確認をしてください。

西千葉本館：平日 8:30 – 22:30　土・日・祝日 10:30 – 18:00
亥鼻分館：平日 8:40 – 21:45　土・日・祝日 10:30 – 20:00
松戸分館：平日 9:00 – 21:00　土・日 10:30 – 18:00

４．自転車の利用について

４－１．自転車を買う時、譲る時

日本の自転車は、持ち主の情報を警察に登録をする必要があります。これを「防犯登録」といいます。自転車を買う場合には、その自転車が、新品でもリサイクル品でも、お店で防犯登録の手続きをしてください。これには 600円かかります。また、住所を確認できるもの（在留カード、国民健康保険被保険者証など）が必要です。

自転車を譲る人は、自転車店で防犯登録の取消をしなければいけません。自転車を貰う人は、下記を持って、自転車店で、防犯登録をしなければいけません。

1．自転車
2．在留カード
3．前所有者の防犯登録カード、または譲渡証明書
4．登録料600円

自転車譲渡証明書ダウンロード　http://www.chiba-bicycle.com/jotoshomei.pdf

千葉市は 2021年4月1日から自転車保険等が加入義務になりました。万が一の事態に備えるためにも、自転車保険等に加入しましょう。

４－２．キャンパス内での自転車の利用

千葉大学では、キャンパス内に自転車を乗り入れ、また止めるために、大学が発行した「駐輪許可ステッカー」を自転車に貼る必要があります。また、駐輪する場所は決められています。このステッカーの申請方法や駐輪のルールは、各キャンパスごとに異なりますので、下記で確認してください。

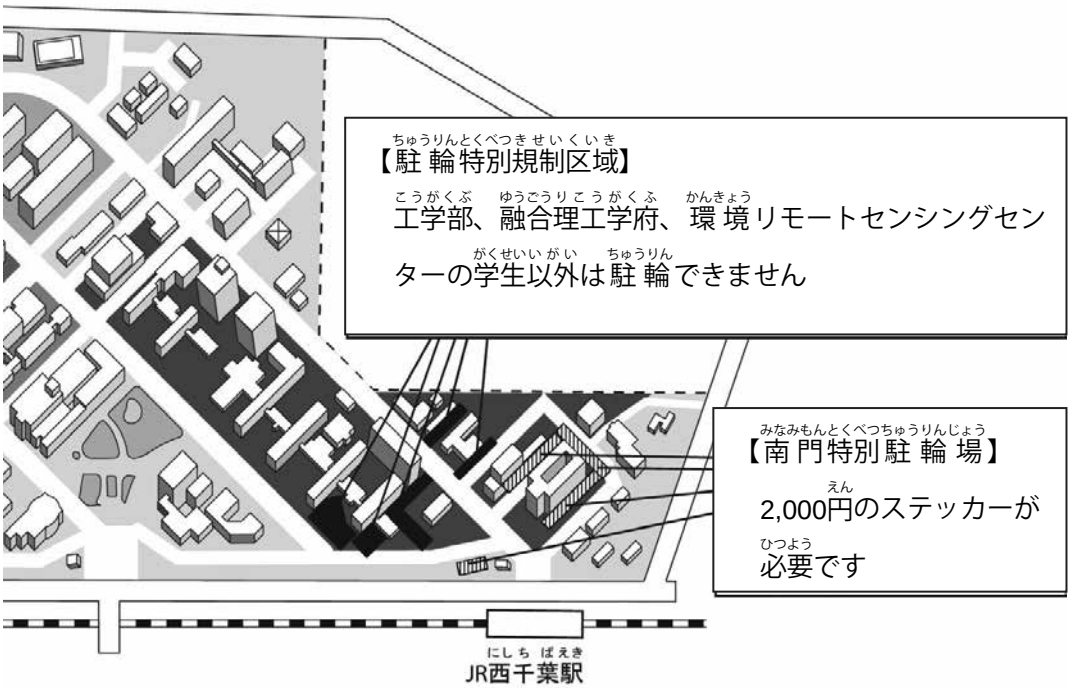
なお、学外での駐輪（駅前やキャンパス周辺の道路）について、近隣に迷惑をかける不法駐輪などは絶対にしないでください。

（1）西千葉キャンパス

自転車で通学する人は、生協（すまい・アルバイト紹介センター（ライフセンター内））で「駐輪許可ステッカー」（800円）を購入し、それを自転車に貼り、指定された駐輪ゾーンに、必ずとめてください。南門特別駐輪場を利用したい場合には、特別ステッカー（2,000円）を貼る必要があります。

なお、工学部４・５・６号棟前、工学系総合研究棟横、および環境リモートセンシングセンター横は、「駐輪特別規制区域」のため、工学部、融合理工学府、環境リモートセンシングセンターの学生以外は駐輪してはいけません。駐輪違反をした自転車はロックされます。それを解除してもらうためには、1,000円の罰金を支払う必要があります。

また、キャンパス内を自転車で移動することは、原則として、禁止されています。



（2）亥鼻キャンパス

各学務係で、ステッカーを申請してください。無料です。

（3）松戸キャンパス

事務室の学務係担当窓口で、ステッカーを申請してください。無料です。

4－3．自転車の交通ルール

日本では、自転車は車と同じです。次のルールを守って、安全に乗るようにしてください。従わない場合には、罰金が科せられることがあります。

① 交通標識には、車と同じように従う（進入禁止、一方通行、止まれ、など）。
② 原則として、車道を走行する（日本では、車両は左側通行）。
③ 例外として歩道を走行する時は、歩行者優先で、車道寄りを徐行する。
④ 夜間はライトをつける。
⑤ 飲酒運転は禁止。お酒を飲んだら、自転車に乗ってはいけません。
⑥ 成人の二人乗り走行禁止。
⑦ イヤーフォン、ヘッドフォンで音楽などを聞きながらの走行禁止。
⑧ 携帯電話を操作しながらの走行禁止。
⑨ 傘をさしながらの走行禁止。
⑩ ブレーキのない自転車（ピストバイク）での走行禁止。

5．電車・バスの定期券、学割証

5－1．定期券

定期券とは、同じ区間を何度も乗る人のための乗車券です。毎回切符を買う必要が無く、料金も割安です。正規生は学生割引で定期券を買うことができます。一方、非正規生は、原則として学生割引を受けられませんが、「通勤定期券」を買うことができます。学生割引よりも少し高いですが、電車に乗る回数によっては、毎回切符を買うよりも安くなります。

電車の定期券については、学部・研究科（学府）の事務室で「通学証明シール」を交付してもらい、学生証の裏に貼り、駅で定期券を買う時に見せてください。バスの場合は、学生支援課（亥鼻・松戸キャンパスは学部・研究科（学府）の事務室）で「通学証明書」の交付を受けてください。

通学・通勤定期券は、駅の券売機や窓口で買う他にも、インターネットで購入手続きをしたり、スマートフォンに定期券の機能を読み込むこともできます。JR の定期券の場合には、下記のサイトで確認してみてください。

定期券を買う方法（JR東日本ホームページ）

https://www.jreast.co.jp/suica/howtoget/commute01.html

5－2．学割証

JR を使って旅行する時、利用区間が 100 キロを超える場合、「学割証」を利用すると運賃が 20%引きになります。各キャンパスの証明書自動発行機で「学割証」を発行し、乗車券を買う時に提示してください。非正規生は、学割を使うことができません。

VII. 日常生活

1．ごみの出し方

ごみの種類は、家庭ごみ、粗大ごみ、家電リサイクル品などがあり、それぞれ出し方のルールがあります。ごみの出し方の詳しい説明書は、市役所・区役所でもらうことができます。また、各市・区のホームページにも掲載されています。必ず確認をして、ルールを守って出しましょう。

1－1．家庭ごみ

①燃えるごみ（紙、生ごみなど）、②燃えないごみ（金属、ガラス、小型の電化製品など）、③有害ごみ（電池、電球など）、④資源ごみ（缶、びん、ペットボトル、古新聞・古雑誌、段ボールなど）に分かれます。また、市区町村が指定したごみ袋を買い、そこに入れて捨てることになっています。回収日や回収場所は、住んでいる地域やアパートによって決められていて、指定されていない場所や曜日に出してはいけません。

千葉市　家庭ごみの分け方・出し方（千葉市ホームページ）
https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/shushugyomu/gomitop.html

松戸市　家庭ごみの分け方・出し方（松戸市ホームページ）
https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/gomi_shinyou/wakekatadashikata/index.html

1－2．粗大ごみ

粗大ごみとは、机、本棚、ベッド、椅子、ソファー、自転車、電子レンジなど、サイズが大きいごみのことです。これを回収してもらうためには、事前に申し込みをして、回収料金をコンビニなどで支払っておく必要があります。詳しくは、P.14　2－2．引っ越しをする時の注意事項を見てください。

粗大ごみの例

家庭ごみとして捨てられない「粗大ごみ」の例です。この他にも「粗大ごみ」はたくさんあります。捨て方や該当する物は自治体のホームページに載っていますので、必ず確認をして、ルールに従って処分してください。

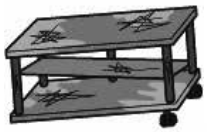
自転車

布団

電子レンジ

机

掃除機


テレビ台

ソファー・椅子

ベビーカー

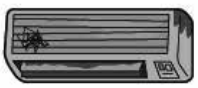
扇風機

本棚

この４つは粗大ごみではありません！

この4品目は、「家電リサイクル法」に基づき収集されるため粗大ごみとして捨てられません。購入したお店に連絡をして、リサイクル料金を払って回収してもらいます。

テレビ


エアコン

洗濯機・乾燥機

冷蔵庫

（経済産業省　ごみイラスト素材集より）

１－３．家電リサイクル品

テレビ、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機、冷蔵庫の4品目は、「家電リサイクル法」により収集されるものです。購入したお店で、引き取りを頼んでください。なお、引き取ってもらう時には、リサイクル料金がかかるので、注意してください。

千葉市　家電リサイクル法の対象廃棄物（家電４品目）の出し方について
（千葉市ホームページ）
http://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/shushugyomu/syusyushinai.html#kaden

松戸市　家電リサイクル法対象品の廃棄の仕方（松戸市ホームページ）
https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/gomi_shinyou/syoridekinaigomi/kaderecycle/index.html

2．銀行

日本の銀行の営業時間は、通常、平日9:00 から 15:00（ゆうちょ銀行は 16:00）までです。口座の種類は様々ですが、普通預金口座が一般的で、銀行窓口で開設することができます。

口座を開設すると、通帳とキャッシュカードが発行されます。キャッシュカードを使うと、コンビニやスーパー、駅、ショッピングモールなどにある ATM（現金自動預払機）で、お金を引き出したり、預けたりすることができます（なお、手数料が 200円程度かかる場合もあります）。

2－1．口座の開設

口座を開設するには、住民登録をした後でないと手続きができません。申込みには、次のものが必要です。

- 学生証
- 在留カード
- 国民健康保険被保険者証（保険証）
- パスポート
- 印鑑（印鑑を使わない国の外国人については、自筆のサインで開設できる銀行もあります）

口座開設の申込書は、原則として代筆が認められません。名前のふりがなや住所などを、日本語で書けるように練習しておきましょう。また、口座はその場で開設してもらえることがほとんどですが、手続きするために、少し時間がかかりますので、時間に余裕がある時に、行ってください。

もし、自分で日本語が話せない場合は、だれか日本語が分かる人と一緒に行ってください。

2－2．送金機能について

銀行口座の開設は簡単ですが、マネーロンダリングなどの犯罪を防止するため、非居住者（新しく日本にやってきた人。例えば旅行者、留学生などの中期的滞在者など）の場合は、口座を作ってから、6 か月程度は、国内・海外を問わず、口座間で送金することができない場合があります。そのため、銀行口座に、母国から生活費などを仕送りをしてもらう予定の方は注意が必要です。

なお、海外からお金を送ってもらうために、Western Union という国際送金サービスを利用する方法があります。Western Union は 200 か国以上に代理店を持ち、千葉駅そばにも代理店があります。送金手数料も安く、受取りに時間もかかりません。詳しくは、Western Union のサイトで確認するか、ISD に問い合わせてください。

２－３．注意する事

キャッシュカードやクレジットカードを使った犯罪が増えていますので、自分のカードが悪用されないように、口座の残金チェックなどはしっかりしましょう。カードの暗証番号を、自分の「誕生日」など簡単な数字にしておかないことも大切です。

また最近、家族に事故や緊急事態が起こったように見せかけ、多額のお金を振り込ませる「振り込め詐欺」も増えています。お金を口座に振り込むように言われた時には、それが本当に必要な事かを、必ず確認をしてください。

さらに、自分の口座を他人に使わせるなどして、利益を得たりすることは、犯罪です。また、人に頼まれて、知らない口座からお金を引き出すなどの行為も、犯罪に協力することになり、刑罰を受けますので、こうした行為は絶対におこなわないでください。

３．携帯電話・国際電話

３－１．携帯電話

携帯電話を購入・契約する場合には、身分証明書（在留カード、パスポート、保険証、学生証など）を持って、携帯電話会社または代理店に行って手続きをします。また料金を支払う手続きのために、クレジットカードか銀行口座も必要となります。

携帯電話機の代金は、一括で支払うことなく、分割にすることもできます。また、学生割引の料金プランや、ウェブの利用が多い人向けに通信料に上限を設けたプランなどもあり、契約の際には選択肢がたくさんあります。契約する時には、チューターなど、携帯電話を持っている人に一緒に行ってもらうと安心です。

３－２．国際電話をかけるとき

携帯電話から国際電話をかけるときには、契約をしている携帯会社のホームページで、かけ方や料金を確認してください。

４．郵便・宅配便

４－１．郵便を出す・受け取る

（１）郵便を出す

日本国内や海外に郵便を出したい時には、郵便局に行ってください。郵便物に切手が貼ってあれば、街のポストから出すこともできます。大切な郵便物の場合は、特別料金を支払うことで、配達記録（相手に確実に届けた記録）や紛失した時の保証をつけることもできます。

海外に郵便や小包を早く届けたい時には、EMS（国際スピード郵便）が便利です。詳しくは、サイトで確認してください。

EMS（国際スピード郵便）（日本郵便株式会社ホームページ）
https://www.post.japanpost.jp/int/ems/index.html

（２）郵便を受け取る

留守にしている時、書留など、受取りのサインが必要なものが、配達された場合には、郵便受けに不在票が入ります。日時を指定して再配達を依頼することができますので、不在票に書かれた番号に連絡をしてください。

（３）引っ越しをしたら

「転居届」を郵便局に出してください。転居届を出すと、古い住所に届いた郵便物を、1年間新しい住所に転送してくれます。インターネットでも手続きができます。詳しくは、以下のサイトで確認してください。

引越し先への転送サービスのご案内（日本郵便株式会社ホームページ）
https://www.post.japanpost.jp/question/100.html

４－２．荷物・小包などを出す・受け取る

（１）国内への配送

国内に荷物を送りたい時には、郵便局か民間の運送会社が扱う宅配便を利用できます。いずれも、集荷や時間指定配達などのサービスを提供しています。コンビニエンスストアでも、配送手続きができるので便利です。国内へは、通常1～3日程で配達されます。当日配送のサービスもありますが、荷物を持ち込む時間や配送所、送り先の地域などが限られますので、事前に確認してください。

留守にしている時に、荷物が配達された場合には、郵便受けに不在票が入ります。日時を指定して再配達を依頼することができますので、不在票に書かれた番号に連絡をしてください。

（2）海外への配送

郵便局から、航空便または船便で送ることが出来ます。急ぎの荷物は、送付する国によってはEMS（国際スピード郵便）も利用できます。送ることが出来ないものや重量・大きさの制限がありますので、事前に確認しましょう。

国際郵便（日本郵便株式会社ホームページ）
https://www.post.japanpost.jp/int/

5．自動車・オートバイの運転

自動車・オートバイの運転は、出来るだけしないでください。J-PAC生、および日本語予備教育生には、自動車・オートバイの運転を許可していません。

留学生の出身国の交通ルールと日本のルールは違う場合が多いです。また道路事情も違うため、運転はとても危険です。もし事故を起こすと、被害者だけでなく自分（加害者）も、肉体的・精神的・金銭的に大変な負担が生じます。

どうしても運転をする必要がある人は、自己責任において、以下のことに注意をしてください。違反した場合には、多額の罰金を支払うことになります。

① 日本国内で使うことができる運転免許証（国際免許証または日本の免許証）を必ず携帯すること。

自国で使っている免許証があっても、それだけで日本での運転はできません。なお、「ジュネーブ条約」を批准していない国の国際免許証は、日本国内で使うことができませんので、注意してください。

国外運転免許証が有効な国など（ジュネーブ条約加盟国）（警視庁ホームページ）
https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/menkyo/menkyo/kokugai/kokugai04.html

② 自動車・オートバイを所有する場合には、自動車保険（自動車損害賠償責任保険）に必ず加入すること。

ただし、この保険は、被害者に対する保障に金銭面での限度があります。また、自分の負傷に対する治療費や、双方の車両損害に対する保障はないため、その支払いをしてくれる任意保険にも必ず加入し、事故に備えた十分な保障を確保しておくことが必要です。

③ お酒を飲んだら、自動車・オートバイ、また自転車も絶対に運転しないこと。

飲酒運転は犯罪です。違反し事故を起こした場合には、100万円以下の罰金または 5年以下の懲役が科せられます。飲酒運転者の車に同乗している人も、罪に問われます。

飲酒したら絶対に運転しないこと、また、飲酒した人を運転させては絶対にいけません。

４－３．自転車の交通ルールもあわせて確認してください。

６．交通事故にあってしまったら

もし、事故にあった時には、どんなに小さな事故だと思っても、必ず警察を呼びましょう。電話番号は 110 です。目撃者がいれば、その人の名前と連絡先を聞いておくことも大切です。

車が関係する事故の場合は、次のこともしてください。

・相手の車のナンバープレート、車名、色を確認してメモをする
・名前と連絡先を交換する
・相手の保険会社と保険証番号を教えてもらう

また、その場では、負傷をしなかった、小さな傷だったと、自分で思った場合でも、時間が経つと、後遺症が出ることもありますので、必ず病院で診察を受けてください。

事故にあった時は、指導教員または学部・研究科（学府）の事務室にも報告してください。

７．物をなくしたとき

貴重品をなくしてしまった場合は、すぐに近くの交番か警察署に届け出て、「遺失届出証明書」を出してもらってください。この証明書がないと、紛失したカードなどの再交付の手続きができない場合があります。

また、カード類は、なくしたことに気が付いたら、すぐにカード発行会社や銀行に利用停止の届け出をしましょう。暗証番号（パスワード）を、他人に推測されにくいものにしておくなどの注意も必要です。

・パスポート：警察から交付された「遺失届出証明書」をもって、すぐに大使館・総領事館に連絡してください。
・在留カード：なくしてから 14日以内に、出入国在留管理局に届け出なければいけません。
届け出には、警察から交付された「遺失届出証明書」と証明写真1枚が必要です。
・保険証：できるだけ早く区役所に届け出てください。
・学生証：所属する学部・研究科（学府）などの事務室に届け出てください。
・キャッシュカード・クレジットカード：直ちに銀行・カード会社に届け出てください。

キャンパスでなくした場合には、その建物内にある事務室、所属する学部・研究科（学府）の事務室、または学生支援課に届け出てください。

電車やバスの中でなくした場合には、「遺失物係（落とし物係）」へ電話で問い合わせてください。電車の場合には、近くの駅に届け出るのもよいでしょう。

8．家族のこと

8－1．家族を呼び寄せる

家族を日本によんで一緒に暮らす場合、その家族が日本に在留するためのビザを取る必要があります。ビザの取得に必要な書類は、あなたの家族が住む国の日本大使館・総領事館に問い合わせてください。ISDでも相談を受け付けています。

なお、日本に入国後は、14日以内に市役所・区役所に住民異動届を出さなければなりません。その時、世帯主（その家族（世帯）の生計を主に担っている人）との続柄（関係性）を証明する公的な文書が必要となります。例えば、配偶者（夫または妻）の場合には、結婚証明書が必要です。日本語の訳文も添付する必要があります。

8－2．子供が生まれたら

日本で子供が生まれた時には、次の手続きを忘れずにしてください。

（1）在留資格の取得（出入国在留管理局）

生まれてから 30日以内に、出入国在留管理局で在留資格取得の申請を行わなければいけません。ただし、生まれてから 60日以内に、日本から出国（再入国をする場合はのぞく）する場合には、届け出の必要はありません。

（2）出生届の提出（市役所・区役所）

生まれてから 14日以内に、市役所・区役所に「出生届」を出す必要があります。必要な書類は以下のとおりです。

- 出生届（市役所・区役所でもらえます）
- 出生証明書（病院で作成してもらいます）
- 母子健康手帳（市役所・区役所から妊婦に交付されている手帳）
- 国民健康保険被保険者証（保険証）
- 在留カード

8－3．子供の教育

小学校に入る年齢に達した子供のいる家庭には、「入学予定児童申請書」が、入学する前年

の9月頃に郵送されてきます。公立の小学校へ入学させたい場合には、この申請書に記入をして必ず期限までに返送してください。入学する年の1月頃に「入学通知書」が住民登録されている住所に送付されてきます。通知をきちんと受け取るためにも、住民異動届はきちんと市役所・区役所に届けましょう。

公立中学校への入学については、小学校を通じて「入学通知書」が渡されます。

9．災害について

日本は、自然災害が多い国です。特に、地震は、いつ、どこで、どの程度のものが起こるか、予知する事は難しいです。日ごろから、以下の事について心がけ、大きな地震が起こった時でも慌てずに行動できるようにしておきましょう。

9－1．普段からの備え

（1）家に、2～3日分の水と食料と、懐中電灯と電池を保管しておく。

（2）重いものや、倒れやすいものを、高いところや寝る場所の近くに置かない。

（3）避難場所（安全な場所）、避難経路（安全な場所への行き方）を確認しておく。

9－2．大地震が起きたら

（1）屋内にいる場合には、ドアや窓を開けて、出口を確保する。

（2）屋内にいる場合には、あわてて外に飛び出さない。

（3）火を使っていた場合には、落ち着いて火を消す。

（4）落ちてくる物から、頭を守る。かばんなどで頭を保護したり、屋内にいる場合には机の下などに身を隠す。

（5）屋内にいるときは大きな家具、屋外にいるときはブロック塀や自動販売機など、倒れる可能性がある危険物から離れる。

９－３．授業中に大地震が起きた場合

（１）西千葉キャンパス

国際教育センターで授業を受けていた時は、図書館前の広場に集まり、その後、教育学部北側のグラウンドに避難します。

他の学部や研究科（学府）では、教職員の指示する場所に避難します。

（２）亥鼻キャンパス

教職員の指示に従って、建物の外へ出て正門や旧正門、駐車場などの広い場所へ集まります。医学系総合研究棟1階～3階までの人は建物北側にある駐車場へ避難します。4階から 11階までの人は、正門前・レストラン脇の駐車場に避難します。

（３）松戸キャンパス

教職員の指示に従って、緑風会館前の広場に避難します。

９－４．揺れが収まったあと

（１）正しい情報を得る

確かではない噂話やフェイクニュースを信じてはいけません。ラジオの報道や、防災関係からの情報に基づいて行動しましょう。

（２）避難場所が開設された場合

大地震のあとの被害状況によっては、地域ごとに、小中学校の体育館や公民館などが避難場所になります。これは、もちろん日本人だけのものではなく、留学生も利用できるものです。そこには、食糧などの支援物資が届けられるほか、正しい情報も集まります。

もしも、大規模火災などが発生した場合には、大きな公園や広場など、「広域避難場所」として指定されている場所にさらに避難します。

≪地震などの広域避難場所≫

大地震で広域火災などが発生した場合に、避難するための場所のことです。

西千葉キャンパス周辺　→　千葉大学　西千葉キャンパス構内

亥鼻キャンパス周辺　→　青葉の森公園

松戸キャンパス周辺　→　千葉大学　松戸キャンパス構内

国際交流会館に住んでいる人　→　小中台小学校

（3）地震のあとのガスが止まった場合の復帰方法

震度5程度以上の揺れを感知したときなどに、ガスメーターが自動的にガスを止めます。ガス臭いときは、すぐにガス会社へ連絡します。

ガスが止まって、ガスメーターの赤ランプが点滅し、ガス供給停止区域に指定されておらず、ガス漏れなどの異常がない場合は、復帰してガスが使えるようになります。

https://youtu.be/X503VyiclLY（東京ガスの動画）

１０．特別な注意事項

① 大麻などの薬物は禁止されています。

日本では、大麻や覚醒剤などの薬物を使用した場合、重い罪に問われます。マリファナも日本では違法薬物です。自分の国では合法であっても、日本で非合法ならば、犯罪になりますので、必ず日本の法律に従ってください。

なお、最近、「危険ドラック」と呼ばれる薬物が問題となっています。これを摂取することにより意識に障害がでたり、そのために交通事故を起こすなどの事例が多く報告されています。危険ドラックと知っていて購入したり使用すると、刑事罰の対象となることもありますので、絶対に手を出さないでください。

また、空港で知らない人の荷物を預かると、薬物を運ぶための犯罪に巻き込まれる可能性がありますので、これも絶対にやめてください。

② カルト集団や宗教団体の勧誘に注意してください。

千葉大学キャンパス内または、周辺で、反社会的な行為や詐欺行為をしている団体が、学生を勧誘するすることがあります。彼らは、始めは自分たちの本当の目的や名前を隠して、親切な友人のように近づいてきます。少しでもおかしいと感じたら、すぐに教員・職員に相談してください。自分の名前や連絡先を教えては、絶対にいけません。ISD や下記窓口でも、相談できます。

千葉大学カルト問題相談窓口

専用電話番号：080-1296-6310　　専用E メール： cultsoudan@office.chiba-u.jp

URL：https://www.chiba-u.ac.jp/campus-life/support/stopcult.html

③ 交通事故に注意してください。

最近、留学生による交通事故の被害、加害がともに大変増えています。自転車の交通ルール、自動車・オートバイの運転のことをよく理解して十分気を付けてください。

交通事故にあったら、どんなに小さな事故でも絶対にその場で警察に電話しましょう。電話番号は「110」です。

生活に関する連絡先

警察（POLICE）		110	
火事（FIRE）		119	
救急車（AMBURANCE）		119	
千葉大学	代表	043-251-1111	https://www.chiba-u.jp/
	ISD	043-290-2195	https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/index.html
	国際教育センター	043-290-2197	https://cie.chiba-u.ac.jp/
	留学生課	043-290-2199	J-PAC、奨学金関係
		043-290-2195	機関保証、住居など
	国際交流会館	043-251-4715	寮事務室
東京出入国在留管理局 千葉出張所		043-242-6597	在留資格の変更・更新、資格外活動許可など （申請書等の提出は千葉県在住者のみ可能）
東京出入国在留管理局		0570-034-259	在留資格の変更・更新、資格外活動許可など
千葉市　稲毛区役所		043-284-6111	住民登録（転入届、転出届など）、国民健康保険など
千葉市　中央区役所		043-221-2111	
松戸市役所		047-366-1111	
千葉県水道局県水お客様センター		0570-001-245 (043-310-0321)	水道の申し込みなど
東京電力(TEPCO)　千葉営業所		0120-99-5551	電気の申し込みなど
東京ガス　千葉エリアお客様センター		043-242-6121	ガスの申し込みなど
外国人相談窓口 (千葉市国際交流協会内)		043-245-5750	千葉市在住外国人への生活・日本語支援、法律相談、ボランティア活動など http://www.ccia-chiba.or.jp/index.php/forforeign/dailyconsultationservices.html
外国人在留支援センター 外国人生活支援ポータルサイト		0570-011000 03-3580-4111	在留資格などに関しての質問・相談 https://www.moj.go.jp/isa/support/fresc/fresc01.html https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/index.html 月～金　9:00～17:00　18言語

千葉県の情報サイト

千葉県庁ホームページ	https://www.pref.chiba.lg.jp/ 日本語・英語・韓国語・中国語・タイ語・ベトナム語・ スペイン語・ポルトガル語
生活ガイドブック「ハローちば」	https://www.pref.chiba.lg.jp/kokusai/hellochiba.html 日本語・英語・韓国語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ タガログ語・タイ語・ベトナム語
ちば救急医療ネット （病院を探す）	https://www.qq.pref.chiba.lg.jp/ 日本語・英語・韓国語・中国語・スペイン語・タイ語・ ポルトガル語・タガログ語・ペルシャ語
千葉県防災ポータルサイト	https://chiba.secure.force.com 日本語・英語・韓国語・中国語・スペイン語・ ポルトガル語
千葉県公式観光物産サイト まるごと e!ちば	https://maruchiba.jp/ 日本語・英語・韓国語・中国語・タイ語・マレー語・ ポルトガル語
ちば国際情報ひろば	https://www.pref.chiba.lg.jp/kokusai/kokusaikouryuu/hiroba.html 日本語・英語・韓国語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ タガログ語・ドイツ語・タイ語
千葉県国際交流センター	https://www.mcic.or.jp/ja-easy/ 日本語・英語・中国語・スペイン語
千葉県警察	https://www.police.pref.chiba.jp/ 日本語・英語・韓国語・中国語・スペイン語

緊急時の連絡先

Numbers to call in case of emergency

突遇紧急灾害时候联络处

긴급　재해시의　연락처

□火事　Fire　火灾　화재 ⇨ 119

電話番号は　119　です。　Call 119.　请拨打 119。　119 번에 전화하십시오.

・「火事です」とまず伝えましょう。
Tell a dispatcher you are reporting a fire first.

・火事の起きている場所を伝えましょう。
Tell the dispatcher where the fire is.

□救急車　ambulance　救护车　응급차 ⇨ 119

電話番号は　119　です。　Call 119.　请拨打 119。　119 번에 전화하십시오.

・「救急です」とまず伝えましょう。
Tell a dispatcher you are reporting a medical emergency first.

・救助が必要な場所を伝えましょう。
Tell the dispatcher where you need help.

□警察　police　警察　경찰 ⇨ 110

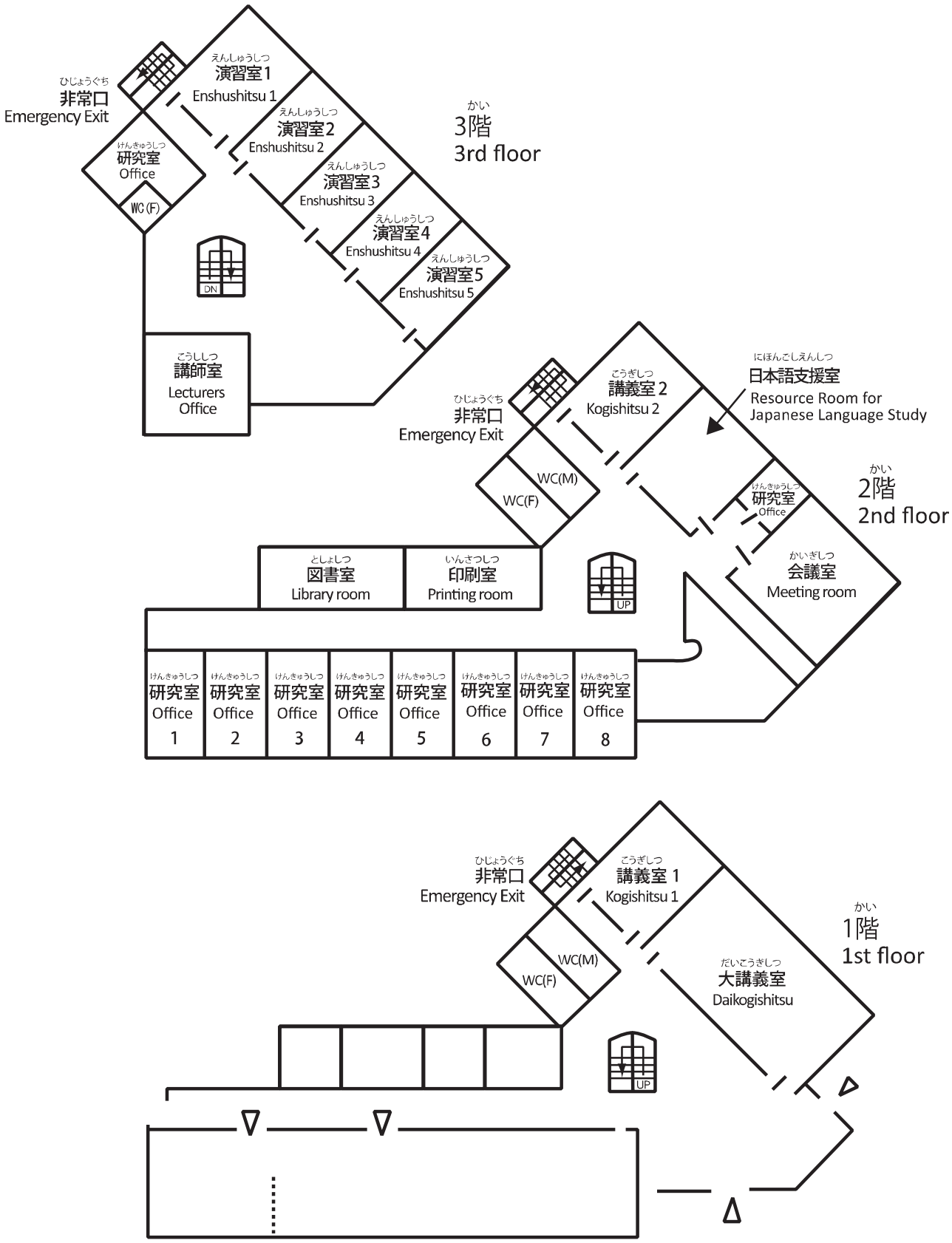
電話番号は　110　です。　Call 110.　请拨打 110。　110 번에 전화하십시오.

・何が、どこで起きているのかを伝えましょう。
Tell a dispatcher where you need help and what is happening.

＊交番　KOBAN（police Box）
身の危険を感じた時は、交番に駆け込んで、警官の助けを求めることができます。
If you feel in danger, you can rush to KOBAN and ask for the help of a police officer.

国際教育センター 案内図

Floor map of Center for International Education (CIE)



I. International Student Support

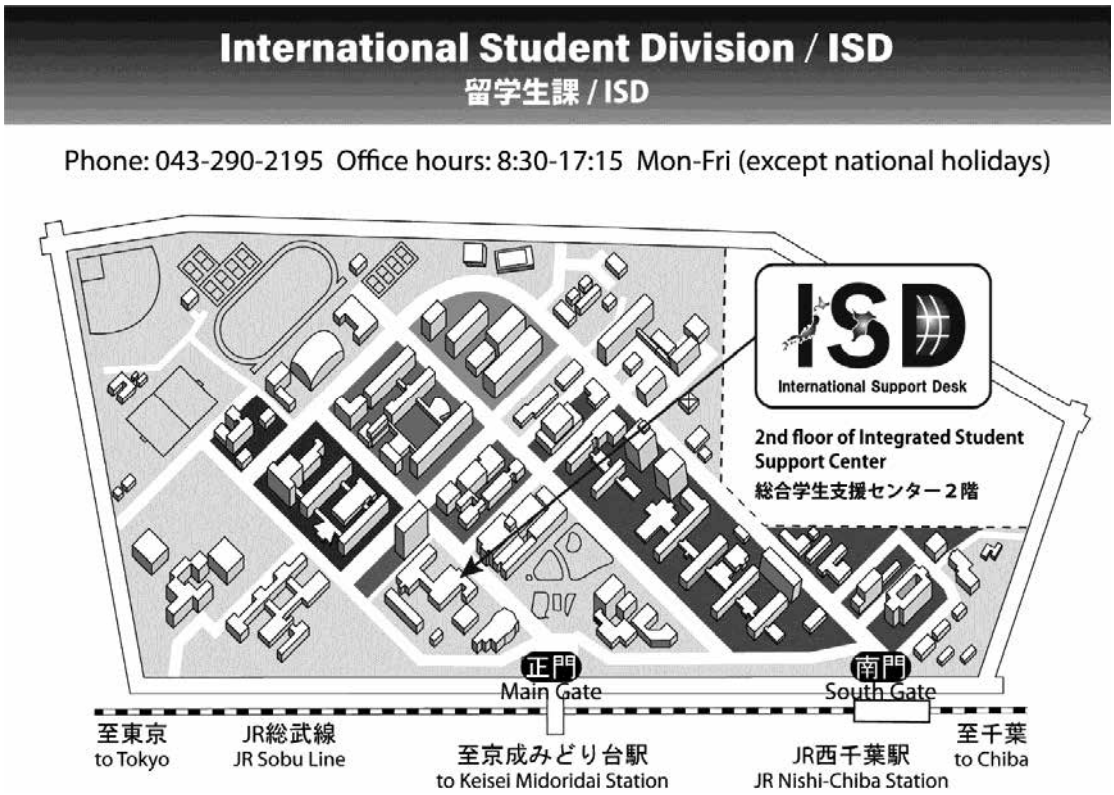
1. International Support Desk (ISD)

isd@office.chiba-u.jp
http://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/en/index.html

International Support Desk (ISD) functions as a primary contact for international students and researchers who seek help for adapting to life in Japan and at Chiba University.

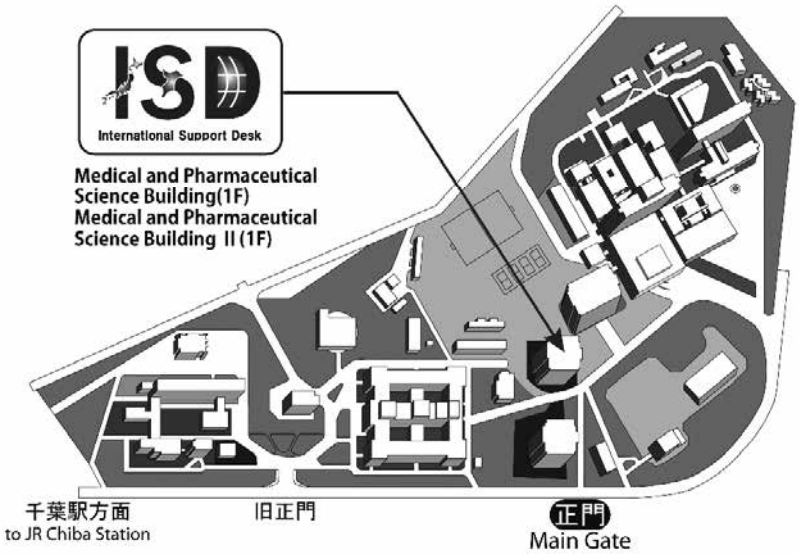
If you need any assistance or information on academic or daily life, or have inquiries on immigration formalities, ISD is the place to visit. ISD has its main office on the Nishi-Chiba campus and its branch offices on the Inohana and Matsudo campuses.

Refer office hours and locations to the maps below and on the next page.



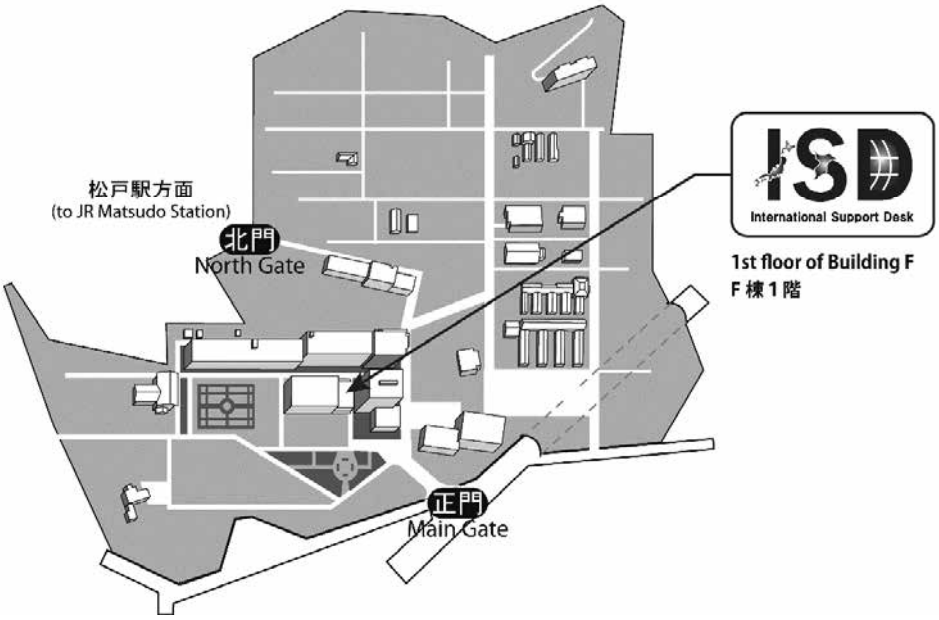
ISD Inohana Campus Branch
ISD 亥鼻ブランチ

Phone: 043-226-2761 Office hours: 9:00-16:00 Mon-Fri (except national holidays)



ISD Matsudo Campus Branch
ISD 松戸ブランチ

Phone: 047-308-8743 Office hours: 9:00-16:00 Mon-Fri (except national holidays)



2. Center for International Education (CIE)

https://CIE.chiba-u.ac.jp/

2-1. What CIE provides

Located in the south area of the Nishi-Chiba Campus, the Center for International Education (CIE) functions as a hub for internationalization and intercultural activities of Chiba University. CIE provides:

- Japanese language courses compulsory for undergraduate international students
- Japanese language courses for graduate, research, and exchange students
- intercultural activities and exchanges with local communities including home visit opportunities
- information and guidance on study abroad programs

A variety of announcements and notifications from Japanese classes to intercultural events are posted on bulletin boards in the CIE building. Check the bulletin boards regularly and stay informed.

2-2. Resource room for Japanese language study

Opening hours: 10:30 – 17:00 weekdays (closed when school is not in session)

You can use personal computers and textbooks for Japanese language study, located on the 2nd floor of the CIE building. All the computers have basic software (MS Office) installed and are connected to the internet. You can also find help from tutors during their office hours (posted on the support room door).

2-3. Rules at CIE

- The south entrance doors of the CIE are locked at 5pm. Use the west entrance after 5pm.
- CIE is a non-smoking area. Note that smoking is also prohibited in outside areas except designated smoking spaces across Chiba University.
- When disposing of rubbish, be careful to put paper, vinyl, etc. to the rubbish bin marked *KANEN-GOMI* (combustibles), and bottles, cans, and plastic bottles to the bins marked *BIN* (bottles), *KAN* (cans) or *PETTO-BOTORU* (plastic bottles).
- Turn the light and air conditioners off, close and lock the windows when leaving classrooms.

3. International Student Division (*ryugakusei-ka*)

http://www.chiba-u.ac.jp/global/sai/index.html

International Student Division is located in 2F of Integrated Student Support Center.

International Student Division provides information and services regarding:

- housing including International House (off campus dormitories)
- scholarships including JASSO scholarship and Japanese government (MEXT) scholarship
- Japan Program at Chiba (J-PAC)

4. Student Support Division (*gakusei-shien-ka*)

https://www.chiba-u.jp/campus-life/

Student Support Division is located in the Student Support Plaza, and provides students information and support on:

- club activities
- tuition exemption
- *Gakkensai* (personal accident insurance for students)
- counseling

  Professional counselors are available to support the well-being of students.
- harassment consultation

  All Chiba University students must be respected as individuals and treated equal, and have rights to study in secure environment. If you feel unpleasant, pain or unfairness in the academic settings, you can consult to specialists including outside experts.

5. Career Support Division (*shushoku-shien-ka*)

https://www.chiba-u.jp/careercenter/

Located in the Student Support Plaza, Career Support Division provides information and guidance sessions for those seeking jobs opportunities after graduation.

Know your student classifications

International students are often categorized by the residency status, student registration status, or the types of scholarship granted as follows:

○ By status of residency

International students (*Ryugakusei*):
those who have acquired "Student" resident status by Japanese immigration

Foreign students (*Gaikokujin-gakusei*):
those who have acquired residency status other than "Student". Foreign students are exempt from scholarship opportunities and other services for international students

○ By student registration status

Degree-seeking students (*Seikisei*):
undergraduate, master's course, and doctoral course students

Non-degree-seeking students (*Hi-seikisei*):
research students, exchange students, Japanese intensive course students

○ By types of scholarship

MEXT scholarship students (*Kokuhi*):
those who receives scholarship from the Japanese government (MEXT)

Foreign government sponsored students (*Seifu-haken*):
those who are granted scholarship from the government of Malaysia, Thai, Singapore, UAE, or Saudi Arabia, and admitted to Chiba University through the Japanese government (MEXT)

Self-sponsored students (*Shihi*):
all students other than *Kokuhi* and *Seifu-haken* students

II. Immigration formalities

1. Status of residence

In principle, the status of residence required to study or pursue research at university as an international student is "Student". Though some of other resident status also allow you to study at school, only students whose status of residence is "Student" are considered international students at Chiba University: if you have anything but a "Student" status, you are not considered to be an international student regardless of nationality, and you are therefore exempt from scholarship opportunities and other services for international students.

2. Residence Card

Residence Card is a picture ID card issued at the time of entry to Japan (at the immigration of the port of entry) to foreign nationals who acquire a mid-to-long time residency in Japan.
Since the Residence Card acts as your primary identification card in Japan, you are required to carry it with you at all times.

3. Extension of period of stay

If you wish to continue your study beyond the initially approved period, you have to apply for an extension permit at the Immigration Bureau. Below is a list of documents required at time of application. Additional document might be required when the Immigration Bureau deems it necessary. The application must be submitted to the local Immigration Bureau office.

1. A set of "Application for Extension of Period of Stay" *
   The first 3 pages are to be completed by the applicants, and the remaining 2 pages must be completed and sealed by your faculty office.
2. A idential photograph (taken within 3 months) 4cm×3cm
3. Certificate of enrollment
4. Document that proves you are financially capable to support your living:
   Ex. certificate of scholarship, bank account statement, etc.
5. Official document that proves your academic standings:
   [Degree-seeking student]: Academic transcript
   [Research student]: The official certificate that proves your research details
   [Auditing student]: The official certificate that proves details of audited subjects
   If you have attended a Japanese language school prior to the application, you are also required to submit a transcript and a document that certifies your attendance issued by the school.
6. Residence Card (*zairyu* card), passport, National Health Insurance Holder's Card (*hokensho*)
7. Certificate of receiving scholarship (if any)
8. Application fee (4,000 yen revenue stamp; available at a post office)

*Application forms are available at the ISD website:
https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/en/visa/renewal.html

4. Leave of Absence

If you take a leave of absence, you cannot stay in Japan with your status of residence "Student".

Please also be reminded that you have to return your residence card at the airport when you leave Japan. In addition, you have to apply the certificate of eligibility once again when you return from a leave of absence.

(Ask ISD for further inquiries.)

It is required to report to Immigration bureau from the university if you had no attendance to classes or your research activities for 3 months as your status of residence shall be revoked.

Contact your supervisor, your department office or ISD earlier if there is a possibility that you will not attend classes or research activities for more than 3 months.

4-2. When temporarily leaving Japan

Those who have the Residence Card and a valid passport are allowed re-entry to Japan without any permission if coming back to Japan within a year of the departure or before the expiration of the permitted period of stay whichever comes first (Special Re-entry Permit). If you want to depart with the Special Re-entry Permit, you must check the box that says "I am leaving Japan temporarily and will return" on the "Embarkation Card For Reentrant" which is available at the departure immigration.

When you need to leave otherwise, then you are required to obtain the Re-entry Permit prior to your departure at the local Immigration Bureau.

For details, visit the website of the Immigration Bureau.

A special re-entry permit (Immigration Bureau of Japan)
https://www.moj.go.jp/isa/content/930002122.pdf

5. Remaining in Japan after graduation

If you intend to extend your stay in Japan after you graduate, you will be required to change your status of residence according to the purpose of stay. Inquire at ISD if you need assistance.

About status of residence after graduation
https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/en/visa/capacity.html

6. Working part-time (*arubaito*)

6-1. Regulations

If you want to work part-time to partly support your study and living, you have to receive a special permit called "Permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence previously granted" (*shikakugai katsudo kyoka*) from the Immigration Bureau since the "Student" status itself does not allow you to engage in any work. However, if you work as a TA or RA at Chiba University campuses, it is not necessary to obtain the permission.

Note that you will not be permitted to work at certain places such as '*pachinko*' parlors, night clubs, or sexually oriented business.

Working limit with the permission is as follows:

28 hours a week

However, you may work up to 40 hours during the following period (when school is officially not in session).

However, you may work up to 40 hours during the summer holiday, winter break, spring break and temporary break. The period differs for each faculty and year, so please check the academic calendar and class calendar of your faculty.

6-2. How to obtain the permission (*shikakugai katsudo kyoka*)

The application must be submitted to the local Immigration Bureau office before you start working. Visit your local Immigration Bureau with the application form, passport, Residence Card and Student ID card. The application form is available at the bureau as well as the ISD website.

（Immigration Documents（ISD website））
https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/en/visa/parttime.html

6-3. Matters to be attended

1. Please report to your department office when you get a work permission.
2. You must re-apply for the permission when you extend or change your status of residence.
3. You are NOT allowed to work while you are taking a leave of absence even if you have the permission.
4. You are NOT allowed to work after graduation even if your period of stay still remains.
5. Recently, cases have been reported that international students are involved in crimes through part-time jobs before they realize it. Getting paid by receiving unknown items on someone's behalf or withdrawing money from someone else's bank account could result in having a part in a crime.
6. You need to clearly understand the employment contract and its detail to avoid problems.

   If you have any questions or problems at your workplace such as your wages, working hours etc. there is an English Advisory Service.

   Consulting Service for Foreign Workers (Chiba Labour Bureau)

   Tel: 043-221-2304

   Tuesday and Thursday from 9:30 am to 5:00 pm

7. Changing the status to "Student"

The following documents are required when changing status of residence to "Student". Additional document might be required when the Immigration Bureau deems it necessary. The application must be submitted to the local Immigration Bureau office: if you reside in Chiba prefecture, you may submit it to the Chiba Branch Office of Tokyo Regional Immigration Bureau or Tokyo Regional Immigration Bureau.

*Changing the status to "Student" from "Short-Term Stay" is generally not admitted. Please ask ISD for further inquiries.

1. A set of "Application for Change of Status of Residence" *

   The first 3 pages are to be completed by the applicants, and the remaining 2 pages must be completed and sealed by your faculty office.
2. A idential photograph (taken within 3 months) 4cm×3cm
3. A copy of a certificate that proves you have been admitted to a university

4. Residence Card (*zairyu* card), passport, National Health Insurance Holder's Card (*hokensho*)
5. Application fee (4,000 yen revenue stamp; available at a post office)

*Application forms are available at the ISD website:
https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/en/visa/change.html

8. Matters to be reported to the Immigration Bureau (*Nyuukan*)

https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/en/visa/report.html

Under the current residency management system, you are required to report to the authorities when there is any change in the following residency details. Failure to comply could result in penalties. If you live in Chiba prefecture, you may report at the Chiba branch office of the Immigration Bureau or Tokyo Regional Immigration Bureau.
You are also requested to notify your faculty office of any change you reported to the authorities.

(1) Changes in your name, nationality, and other personal details

When your name, nationality and/or other personal details changes due to the occasion such as a marriage, you are required to report that to the Immigration Bureau within 14 days after the change takes places.

(2) Reissuing of Residence Card

If your Residence Card is stolen or missing, you must report to the Immigration Bureau within 14 days from the date you notice the fact.
Also, when your Residence Card needs to be reissued due to defacement, mutilation, loss and other causes, you are required to report to the Immigration Bureau ASAP.

(3) Changing/Quitting schools

When you enter/transfer to other university than you are originally admitted to or when you graduate or withdraw from school, you are required to report to the Immigration Bureau within 14 days after the change takes place by the prescribed form.

Online notification is available on website of the Ministry of Justice.

8-2. Location of Immigration Bureau (*Nyuukan*)

To apply for change of status of residence, extension of period of stay, part-time work permit and certificate of eligibility, you should go to Tokyo Regional Immigration Bureau. If you are a resident of Chiba prefecture, you can apply at the Chiba branch of Tokyo Regional Immigration Bureau.

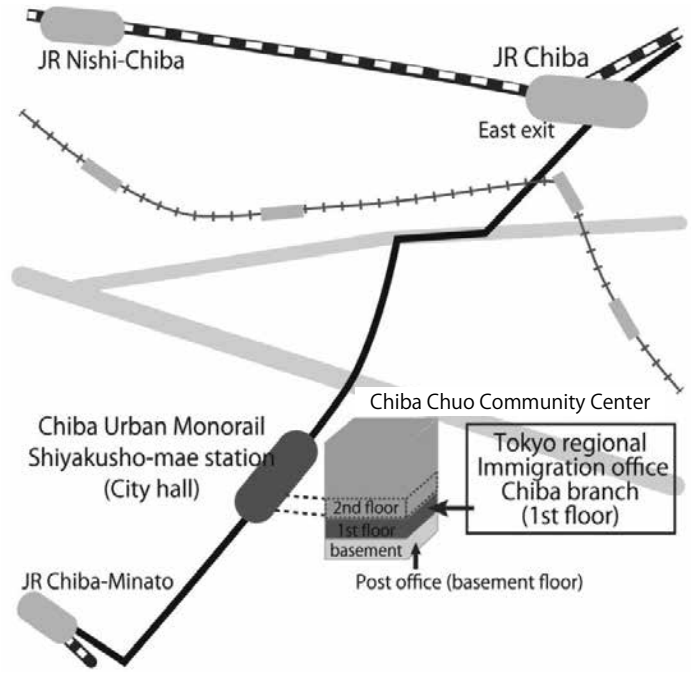
A. Tokyo Regional Immigration Bureau Chiba Branch office

Address: 1st floor, Chiba Chuo Community Center, 2-1 Chiba-Minato, Chuo-ku, Chiba
Tel: 043-242-6597
Office hours: 9:00-12:00, 13:00-16:00 (weekdays)

How to get to Chiba Branch office

Take Chiba Urban Monorail to the direction of Chiba-Minato. Get off at "*Shiyakusho-mae*" (City Hall) station which is one short train stop from Chiba station.

Take left after exiting the ticketing gate and cross the overpass to the Chuo Community Center building. Chiba Branch office is located on the first floor of the building. You can purchase the revenue stamp which is required for some application at the post office located on the basement floor.



B. Tokyo Regional Immigration Bureau

Address: 5-5-30 Kounan, Minato-ku, Tokyo
Tel: 03-5796-7111
Office hours: 9:00-12:00, 13:00-16:00 (weekdays)

How to get to Tokyo Regional Immigration Bureau

Take JR (Japan Railways) to *Shinagawa* station. It takes approximately 15 minutes by bus from the *Shinagawa* station. For details, refer to the Immigration Bureau website.

Access Map (in Japanese) PDF
https://www.moj.go.jp/isa/content/930002234.pdf

III. Housing

1. Resident registration (*jumin-toroku*)

The same residency management system as Japanese nationals (*Jumin-toroku*) is applied to mid-to-long term foreign residents (some exceptions apply). For details, refer to the website of the Immigration Bureau.
With this residency management system, your resident record - your name, local address, National Health Insurance record and etc.- is managed at the local ward/municipal office based on the information recorded on your Resident Card.

> Note that you must report your address to the local ward/city office within 14 days after you arrive in Japan if you are issued a Residence Card. Also, you are required to report to the local ward/city office within 14 days when you change your address in Japan.

To confirm your resident record, the local ward/municipal office will issue you a *Juminhyo*, a certificate of resident record, upon request. You might be asked to present or submit a *Juminhyo* upon the entrance exam application or when you make a contract for a mobile phone. It generally costs 300 yen (fee varies depending on areas) to have a *Juminhyo* issued.

※My number (Individual Number)
"My number" is about social security and tax number. It will be issued to all foreign nationals who are allowed entry with a mid-to-long term resident status. My number (Individual number) notification letter in an envelope will be delivered to your home address. This letter is very important since it must be submitted to ward office when you move to the other place or leave Japan.

2. Moving and Leaving

When you move to a new place or leave, you must notify the following authorities or service providers.

2-1. Notification requirement

(1) To ward/municipal office

You must report the change of address to the local ward/municipal office of the area you move out of and have a "move-out certificate" (*tenshutsu-shoumeisho*) issued. Then, with the "move-out certificate", you must also report that you are moving into the town to the local office in the area you are moving in within 14 days.
Make sure that you take your National Health Insurance card, My Number card (or Notification post card) and resident card when going to the Ward office.

(2) To university office

Report your new address and contact information to the office of your faculty ASAP.
Also, please log in Student Portal and update them.

(3) To post office

Lodge a change-of-address form at any post office. Letters addressed to your old address will be redirected to your new location for one year. There is an on-line service to advise the Post Office of change of address:

e-Tenkyo
https://welcometown.post.japanpost.jp/etn/ (Japanese language only)

(4) To utility companies

Inform the date of your moving-in/out to utility companies as soon as possible.

TEPCO (Tokyo Electric Power Company)	Follow the instruction on the website https://www.tepco.co.jp/ep/ep/startstop/moving-e.html
Tokyo Gas	Call the customer service center https://www.tokyo-gas.co.jp/en/procedures/moving.html
Chiba Prefectural Waterworks Bureau	Follow the instruction on the website http://www.pref.chiba.lg.jp/english/regidents/waterworks.html
Bank account, Credit card, Mobile phone	Call the company

2-2. Matters to be attended

Keep the deadlines for various formalities and payments. Also, observing local rules and etiquette is very important when moving out of the old and moving into the new place. Please remember that people in the local community think you represent not only Chiba University but also your home country.

(1) When moving-in

1. Visit the landlord or the caretaker of your apartment, and your next door neighbors to say hello.
2. You should not move-in early in the morning or late at night.
3. You must avoid annoying your neighbors by making noise, such as talking loudly or using washing machines at night.
4. You have to keep the rules of the city, ward or district where you live in, especially regarding garbage disposal. Please ask and check the rules at your real estate agent's or ask the caretaker of your apartment. You may obtain useful information from your local municipal/ward office or its website.

(2) When moving-out

1. You must tell your real estate agent that you are moving out by the date stated in your rental contract.
2. You must leave your room in the condition it was when you first moved in. If you move out without cleaning, you will be charged a cleaning fee. You must dispose of the garbage by yourself. Oversized trash must be disposed according to the rules of your district. Please check the website of your local area for details:

   How to Dispose of Household Garbage and Recyclables (City of Chiba website)
   http://www.city.chiba.jp/somu/shichokoshitsu/kokusai/gb-en-kurashi.html

   Separation and Disposal of Garbage (City of Matsudo website)
   http://www.city.matsudo.chiba.jp/InternationalPortal/en/forforeignresidents/guidestoliving.html#cmsgarbagedisposal

3. You must dispose your bicycle as bulk garbage.
   If you give your bicycle to someone, you must cancel your Bouhan touroku (anti-crime registration) at any bicycle shop.
4. You should say good-bye to your landlord, caretaker and neighbors at your apartment.
5. You have to pay for your water, electricity, gas and phone expenses before you move out.

3. Chiba University International House (CUIH)

CUIH is an off campus dormitory style facility for Chiba University international students with 180 single, 24 suite (for married couples only) and 14 family rooms in five buildings (Buildings A～E). CUIH is located within walking distance from JR Inage Station, which is just one short train stop (2 minutes) from the Nishi-Chiba campus. Many students commute to the campus by bicycle.

Length of contract is 6 months or 1 year and cannot be renewed or extended. Application outlines is available at the website of the International Student Division .

Note that drinking and smoking at the common service area in the CUIH are prohibited

4. *Kunpu-ryo*

Kunpu-ryo is an off campus dormitory where both Japanese students and International students can live together.

- 29 single rooms are for International Students.
- It is located 10minits walking distance from JR Inage Station.
- Bathroom, Shower room, and kitchen are common use.
- Length of contract is 1 year or 2 years.
- Application will be announced at website of International Student Division in March and September.

5. UR apartment rooms

Chiba University leases some rooms from the UR Apartments in the *Saiwaicho* and *Takasu* areas (approximately 2 - 3km from Nishi-Chiba campus) to international students at affordable prices. Since one of the purposes of leasing the UR rooms to international students is to promote cultural interaction, tenants are expected to participate in various activities and events of the resident communities in the area.

The minimum contract period is two years. If you are interested, please inquire at ISD.

6. Rental accommodations

6-1. Finding an apartment room

Most international students attending Chiba University live in privately rented accommodations (apartments). Private accommodations can be found through University COOP or local real estate agents. You can also find basic information on finding and renting an apartment room at the following website offered by Japanese government.

Apartment Search Guidebook
http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/torikumi/anshin/heyasagashi2.pdf

The Chiba Housing Advisory Service for Foreign Students has helped foreign students find a room by providing them with housing information.

https://www.pref.chiba.lg.jp/kokusai/english/information/residents/students.html

6-2. When making a contract

When renting a private apartment, flat or house, apart from your monthly rent you will often have to pay a bond (*shikikin*), 'key money' *(reikin*) and their agent's fee (*chukairyo*). The bond and 'key money' are equal to 1～2 month(s) rent, respectively. The agent's fee will normally be the same as your monthly rent. Note that only the bond (*shikikin*) is partly refundable when you move out.

6-3. Apartment Tenancy Guarantee

http://www.chiba-u.ac.jp/global/sai/itagj.html

When making a rental agreement with a landlord or real estate agent, you need to provide a guarantor to co-sign the contract. If you lack a co-signer, Chiba University can provide you with an institutional guarantee known as "Apartment Tenancy Guarantee" (*Apato Nyukyo Kikan Hosho*), under the condition that you subscribe to the "Comprehensive Renters' Insurance for Foreign Students Studying in Japan" managed by Japan Educational Exchanges and Services (JEES). To be an eligible applicant, you must:

- be a Chiba University student with a resident status of "Student"
- move into a private apartment which requires a guarantor
- live alone, with your spouse/children, or with international student(s) of Chiba University*
  * In the case that you live with international student(s), all of you must join this service.
- comply with the lease agreement

For further information, please contact ISD.

IV. Insurance

1. National Health Insurance (*kokumin kenko hoken*)

In general, all foreign nationals who are issued a Residence Card are required to obtain National Health Insurance (*Kokumin-kenko-hoken*): international students and researchers are not exceptions.

This insurance covers 70% of your medical fees.

1-1. How to claim

You need to present your National Health Insurance holder's card (*hokensho*) each time you visit any medical institution: you will then pay only 30% of the total medical costs.

If you forget to present your card, you will be charged full medical fees: you may ask for the reimbursement later by presenting your card at the same institution within the same month.

National Health Insurance does NOT cover the followings:

checkup, vaccination, cosmetic surgery, injuries and illness caused by fighting or being drunk, childbirth, abortion, injuries caused while at work (see 1-4 below)

1-2. Reduction of insurance fees

Though fees vary depending on the ward/city, they are basically determined based on your annual income. If your annual income is only from part-time jobs, your insurance fees are most likely to be reduced (scholarships are not considered as income): however, you need to claim the reduction by submitting the prescribed form to the local ward office between January to March EVERY YEAR. Pick up the form at the local ward office or at ISD.

1-3. How to register

You can register for the insurance policy at your local ward/city office. It is recommended to register at the same time you report your address to the office. You will not be asked to pay the premium when you register (see 1-2 (2) below). The insurance holder's card (*hokensho*) will be issued on the spot upon registration. You will receive the bill (payment slips) several weeks after you register at the ward/city office by post. You may pay the bill in full or in installment at banks, ward/city offices, and/or convenience stores.

1-4. When returning to your country

You are required to report to the local ward/ municipal office by the prescribed form (Jyumin Ido-todoke) before you leave Japan. The period of submission of the form is from one month ahead. (two weeks before for students lives in Matsudo)

Be sure to take a proof of your departure (ex: airline ticket/ e-ticket) as well as your Residence Card (Foreign Resident Registration Card) and National Health Insurance Holder's Card and My Number Card (individual number card) or My Number Notification Postcard when you visit the office.

If you over paid your premium for the National Health Insurance, you will receive a refund by bank transfer 3 or 4 days after you finished the procedures.(Refund will be paid in cash at Matsudo municipal office. The procedure will take 2 to 3 days. Please let them know that you will not have a bank account once you leave Japan.)

Failure to report might result in being charged the premium of National Health Insurance and other taxes even after you leave Japan.

The prescribed form (Jyumin Ido-todoke) is available at the local ward/ municipal office:

if you are a Chiba city resident, the form is also available at ISD.

Note: Every time you change address, you are required to report to the local ward/ municipal office.

Requirements for Leaving Japan (ISD website)

https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/en/preparation.html

1-5. If injured while at work

National Health Insurance does not cover injuries caused while at work since the Industrial Accident Insurance must be applied instead: employers are responsible to report the accident to the Ministry of Health, Labour and Welfare. If you are injured while at work and need to see a doctor, visit the clinic or hospital designated by the Industrial Accident Insurance (*rosai-shitei-byoin*). At *rosai-shitei-byoin*, you do not have to pay medical fees when you receive treatment. Tell the doctor and nurse that you are injured while at work before being treated.

If you have no choice but to go to a clinic not designated by the insurance, you still have to inform the doctor that you are injured while at work: you must pay the full medical costs since the National Health Insurance will not apply, however, you may apply for the reimbursement to the Labor Standards Inspection Office. Note that it takes a few months before you can receive reimbursement and you might have to pay 1,000 – 5,000 yen as document processing fees to the hospital.

2. National Pension System（*kokumin nenkin*）

All registered residents in Japan aged 20 to 59 years must be covered by the National Pension System. International students and researchers are not exceptions.

Japan National Pension Service website: https://www.nenkin.go.jp/index.html

2-1. How to Enroll in the System

-The person who becomes a resident in Japan before 19 years old

You will receive the notification of National Pension system registration from Japan Pension Service after you become 20 years old.

-The person who becomes a resident in Japan after 20 years old

You are required to apply for the National Pension System at municipal offices or the Japan Pension System Branch Offices.

2-2. If you have difficulty paying National Pension Contributions

To establish the exemption, you need to apply at your local municipal office. The application form is available there or the Japan Pension System Branch Offices.

(1) Degree-Seeking students (Seikisei)

Undergraduate, master's course or doctoral course students can apply for "Special Payment System for Students."

If your application is approved, you may be allowed to postpone contribution payment.

https://www.nenkin.go.jp/international/japanese-system/nationalpension/nationalpension.html

(2) Non-degree-seeking students (Hi-seikisei)

Research students, exchange students, or Japanese intensive course students can apply for "National Pension Contribution Exemption／Payment Postponement."

If the application is approved, the exemption of full or partial amount of contribution payment is granted.

https://www.nenkin.go.jp/service/pamphlet/kaigai/menjyo-yuyo.html

2-3. Procedure after your graduation

(1) When returning to your country

You are required to report to the local ward/ municipal office by prescribed form (Tenshutsu Todoke) before you leave Japan. Then you will lose the qualification for the National Pension System.

However, the person who has contributed to the National Pension System for at least six months in total can apply for "Lump-sum Withdrawal Payments" within two years after you register to leave Japan (even if you are no longer Japanese resident).

https://www.nenkin.go.jp/international/japanese-system/withdrawalpayment/payment.html

(2) If you work for a company after your graduation and are covered by employees pension insurance systems, your employer is responsible for completing your enrollment of pension system on behalf of you. However, the employer may ask you "Your Basic Pension Number", which identification number is written on your Pension Handbook.

*Regarding "Social Security Agreements"

https://www.nenkin.go.jp/international/agreement/index.html

3. Personal Accident and Liability Insurance for Students （*Gakkensai・Inbound futai-gakuso*）

While National Insurance is the medical insurance, *Gakkensai and Inbound futai-gakuso* are damage and liability insurance. Chiba University requests all International students to purchase the policy.

3-1. Coverage

(1) Gakkensai

This insurance offered by Japan Educational Exchanges and services covers accidents that occur when students are attending school and extracurricular activities or commuting to school.

[Examples 1]

A student fell down the stairs at the station on her way home from the university and had to undergo an operation.

⇒ Indemnity for medical expenses and hospitalization will be paid according to the insurance company's regulations.

(2) Inbound futai-gakuso

"Comprehensive insurance for students lives coupled with Gakkensai for International Students" covers injury, illness and Indemnity liability, that may occur not only during curricular activities on campus, but also during any time in daily life.

[Examples 2]

When a guardian comes rushing to the hospital following student's hospitalization.

⇒ Rescuer Expenses will be paid up to 3 million yen.

3-2. How to join

You are requested to pay the membership fee at the time of admission to the university. You can find the payment slip inside the booklet given to newly admitted students (*nyugaku-tetsuzukino-tebiki*), and the payment should be made at a post office.

3-3. How to claim

If you get involved in an accident under the circumstances covered by this insurance, consult your faculty office promptly.

V. Medical assistance

1. In case of emergency

If you think you are or someone around you is in a life-threatening situation, call "119".

An ambulance will be dispatched to your location. Be prepared to tell the dispatcher where you are (address, landmark, etc.).

2. University Health Center

University Health Center (Safety and Health Organization) offers students an annual health checkup, primary medical care, and mental health consultations free of charge. It can refer you to clinics and hospitals if you need advanced medical care.

The main facility of the Health Center is located right next to the CIE on Nishi-Chiba Campus, and its branch offices are located on Inohana and Matsudo Campuses as below.

2-1. Place and hours

(1) Nishi-Chiba Campus

Safety and Health Organization Building, 1st floor

Hours: 9:30-11:00, 13:00-15:50 (weekdays)

Tel: 043-290-2214

URL: http://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/home_e.html

(2) Inohana Campus

Inohana Healthcare Room, Medical Building, 3rd floor

Hours: 9:00-16:00 (weekdays; closed during lunch hours)

Tel: 043-226-2821

URL: http://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/sisetu/inohana.html

(3) Matsudo Campus

Matsudo Healthcare Room, *Ryokufu-Kaikan*, 1st floor

Hours: 9:00-16:00 (weekdays; closed during lunch hours)

Tel: 047-308-8731

URL: http://hschome-gw.hsc.chiba-u.ac.jp/sisetu/matsudo.html

A doctor is on duty on second and fourth week Thursday. You may not obtain medicines if doctor is out of office.

2-2. Medical check-up

It is University policy that every student undergoes an aunual medical check-up which is conducted at the beginning of each academic year by Chiba University Safety and Health Organization. Their aim is to prevent and detect health problems at early stages. Depending on the result of your routine check-up you may be advised to undergo more detailed examination. An extra medical check-up for International Students admitted in October is also carried out in November or December.

Note that if you do not undergo this check-up, you will not be able to receive a medical certificate issued by Chiba University Safety and Health Organization when you need one for the purpose of employment, exams, etc.

2-3. Student counseling

Chiba University Safety and Health Organization puts special emphasis on mental health of students. If you have personal problems or any problems regarding everyday life or study, one of our counselors will be available to help you. Should need be, group counseling is also available. In order to protect your privacy, counseling is strictly confidential. We also encourage you to use the organization's telephone counseling service at 043-290-2216. Or if you need language assistance to make an arrangement of counseling, consult ISD.

Facilities and consultation services on-cumpus (ISD website)

https://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/en/advising/facilitiesconsultation/index.html

3. Hospitals and Clinics

There are two types of hospitals in Japan: general hospitals, which diagnose and treat a wide range of medical ailments, and private clinics run by medical practitioners in their areas of specialization. Some hospitals in Japan have an appointment system, so you should check before you visit. Some hospitals may charge you an additional fee of over 5,000 yen if you come without a letter of referral from a medical practitioner. If you need language assistance, ISD can arrange a volunteer interpreter for you.

Note that you should present your National Health Insurance Holder's Card (*hokensho*) when you see a doctor. Also, prepare enough cash as most of the clinics do not accept credit cards.

4. Medical service at night and on weekends

If it is an emergency, call 119 for the ambulance.

If it is not an emergency but a medical consultation or treatment is needed, check the clinic on duty on the website of your ward/city. For the city of Chiba and Matsudo, the information is available at the URL below.

Chiba City Emergency Medical Services (City of Chiba website)
http://www.city.chiba.jp/somu/shichokoshitsu/kokusai/gb-en-iryou.html

Emergency Medical Treatment (City of Matsudo website)
http://www.city.matsudo.chiba.jp/iryoutoshi/kyubyou-saigai/kyuukyuuiryoutaisei.html

*Phone number for hospitals open at nights and weekends
047-366-0010 (Mon-Fri 16:30-9:00) (Sat, Sun, Holidays 9:00-9:00)

*Phone number for dentists open at nights and weekends
047-365-3430 (20:00-23:00)

*Emergency number for pediatricians
047-712-2513 (18:00-23:00)

Sudden Illness (City of Kashiwa website)
https://www.city.kashiwa.lg.jp/hokennenkin/kyuubyou/kyubyo/index.html

Kashiwa Medical Center 04-7163-0119 (19:30-21:30)

5. Pharmacies

Some simple drugs (e.g. aspirin, vitamins, etc.) are available from pharmacies without prescription. If you decide to buy medicine at a pharmacy, read the labels carefully and follow the pharmacist's advice. Please note that if you buy non-prescription drugs at pharmacies, your health insurance does not apply; it may be to your advantage to go to a hospital and get a prescription from the doctor.

VI. Life at Campus

1. Website, Bulletin boards & Emails

A variety of announcements and notifications from the university are posted on website as well as on bulletin boards around campus. You are responsible for staying informed.

Check the website and bulletin boards regularly, as a failure to receive important notices in a timely manner may affect your university career.

Important and urgent messages from the university may also be sent to you by email. Please be sure that you register your current email address to the office of your faculty.

2. Scholarships

Some scholarships are available for students with a Student visa status. You must be on the "Scholarship Applicant List" by completing "Scholarship Applicant Registration" (see 2-1 below) during the designated period every year in order to apply for a scholarship which needs a university recommendation. Since many scholarship applications require university recommendations, you are highly advised to register to be on the list.

Since the number of applicants largely exceeds the number of scholarships available, not all applicants are guaranteed a scholarship.

2-1. Scholarship Applicant Registration

Self-sponsared International students may apply for a number of scholarships provided by various government and non-government organizations or private foundations, but most of them require the recommendation from the university. To be eligible to apply for those scholarships, students MUST first have registered themselves as prospective applicants at Chiba University. Details of the registration period and procedure are posted on the website of International Student Division. Registration must be renewed every year. Those students who haven't registered are not eligible to apply for any scholarships which require university recommendation in the relevant academic year.

2-2. How to apply for the scholarship with university recommendation

Note that just completing Scholarship Applicant Registration (see 2-1 above) does not automatically make you a candidate for any scholarship. It is still your responsibility to look for and find a scholarship and sign up to be on the longlist at the International Student Division or at ISD. International Student Division posts the latest information about available scholarships on bulletin boards as well as on the website.

The university board will then examine the academic standings of the applicants on the longlist and choose the final candidate. Only those selected as final candidates can apply for the scholarship with the recommendation of Chiba University. Also see the flowchart on the next page.

【 How to apply for scholarship with university recommendation 】

1. Complete "Scholarship Applicant Registration" (see 2-1)
   Registration is required every academic year during the designated period.
2. Find a scholarship you want to apply to
   Check the available scholarship on bulletin boards and website.
3. Sign up to be on the longlist
   Sign up if you find a scholarship you want to apply to at the International Student Division or at ISD.
4. Candidate selection
   University board will select the final candidate from the longlist.
5. Apply for the scholarship
   Those who are selected as final candidates can apply with the university recommendation.

2-3. Where to inquire

Consult at the International Student Division if you have any inquiry or need assistance.

International Student Division
Tel: 043-290-2199
Email: intl-scholarship@chiba-u.jp
Website: http://www.chiba-u.ac.jp/global/sai/#scholarship

*You can directly apply for the scholarships of "direct application" without "Scholarship Applicant Registration".

3. Campus Libraries

https://www.ll.chiba-u.jp/english/index.html

Chiba University libraries provide various assistances and resources to support the research and educational activities of the faculty, students, staff and general public. There are three branches, one on each campus: the Central Library (Nishi-Chiba Campus), the Library of Health Sciences (Inohana Campus), and the Library of Horticultural Sciences (Matsudo Campus).

You will need your Student ID Card when entering the library and borrowing books. If you want to use a computer at the main library, you need your own ID and password. If you don't have one, consult the office of your faculty.

Opening Hours (may change during holidays, exams and inter-semester breaks)

Nishi-Chiba	8:30-22:30 (weekdays), 10:30-18:00 (weekends)
Inohana	8:40-21:45 (weekdays), 10:30-20:00 (weekends)
Matsudo	9:00-21:00 (weekdays), 10:30-18:00 (weekends)

4. Bicycles

4-1. Bicycle registration

In Japan, every bicycle must be registered to the police. Bicycle registration is meant to help recover stolen bicycles. When you buy a bicycle, no matter if it is new or recycled, you are required to register the bicycle at the shop. This registration costs 600 yen, and you need to present your ID with your current address (ex. Residence Card, National Health Insurance Holder's Card).

If you give your bicycle, you have to cancel your bicycle's Bouhan touroku (anti-crime registration) at bicycle shop that handles registrations.
If you are given or you obtain a second-hand bicycle you have to take the following to a bicycle shop in order to register the bicycle in your name.

1. Bicycle
2. Residence card
3. The previous owner's anti-crime registration slip or Transfer of ownership certificate.
4. Registration fee ￥600

Transfer of ownership certificate download. (Japanese only)
http://www.chiba-bicycle.com/jotoshomei.pdf

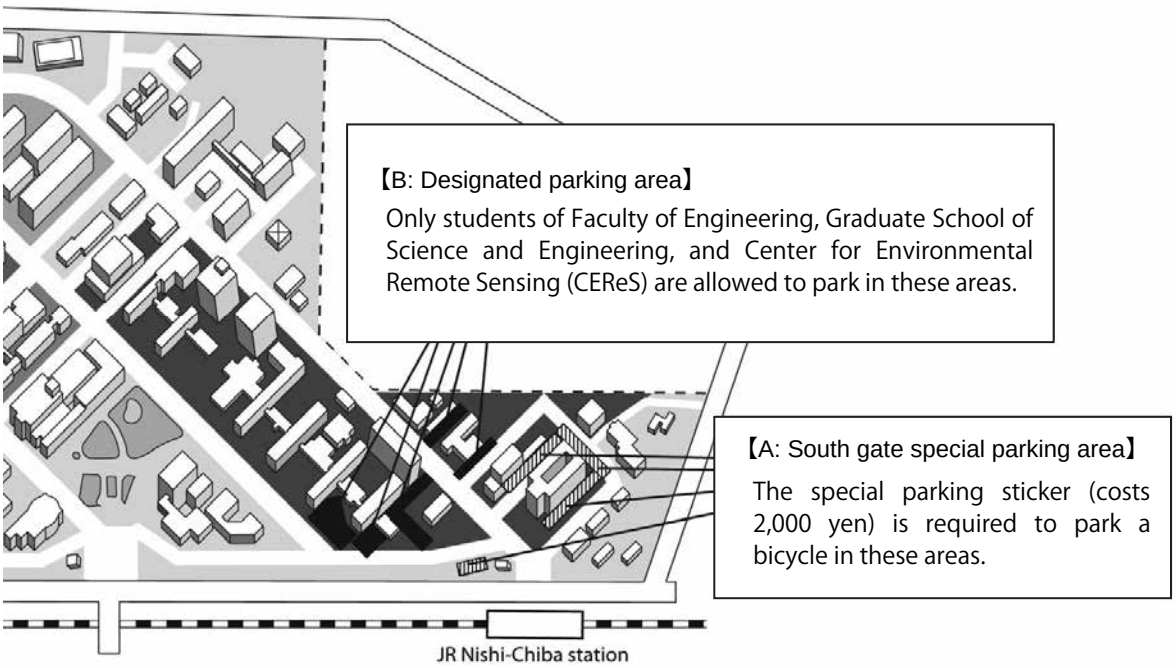
Chiba City obliged all bicycle riders to enroll in insurance (such as bicycle casualty insurance) to ensure that they can pay for any damage or injury to others if the rider is involved in a cycling accident. Let's purchase them for an unexpected accident.

4-2. Parking bicycles on campus

You are required to obtain a parking permission sticker and put it on your bicycle if you want to park your bicycle on campus.

(1) Nishi-Chiba campus

If you commute to Nishi-Chiba campus by bicycle, you are required to purchase an on-campus parking permit sticker at the CO-OP counter in the Life Center next to the library. The permit sticker costs 800 yen. If you want to park your bicycle in the A area (South gate special parking area) on the map below, you are required to purchase a special permit sticker which costs 2,000 yen. Also, the B area (designated parking area) below is only for students of Faculty of Engineering, Graduate School of Science and Engineering, and Center for Environmental Remote Sensing (CEReS): students who belong to other faculties, graduate schools or centers are not allowed to park in the B area. Bicycles parked without the appropriate permit sticker will be locked and towed away; fine will be charged to recover the bicycle.
Note that Chiba University requires that non-commuting students should not ride their bicycle to travel on campus.



(2) Inohana and Matsudo campuses

For the permission on Inohana and Matsudo campuses, ask for the free sticker at the faculty/graduate school office you belong to.

4-3. Traffic rules

Under the Road Traffic Act, bicycles are considered to be vehicles. Therefore, when you ride a bicycle, you must keep to the left-hand side of the road, and use the same road as cars, not the sidewalk, unless otherwise stated by road signs.

You should refrain from the following.

-drunk riding
-riding double
-riding side by side
-riding with a cell phone
-riding with headphones
-riding with an umbrella
-riding with no breaks
-riding with no light at night

5. Railway pass and student discount

5-1. Railway pass (*teikiken*)

If you commute by train or bus, you can purchase one-month, three-month or six-month railway/bus pass from the station nearest to your campus or home. If you are a degree-seeking student, you can purchase the pass at the student discount rate. To get student discount on railway pass, please ask at the office of your faculty for a sticker which should be attached to your student ID card. Should you need a student discount pass on bus lines, please ask for a relevant certificate at the Student Support Division at the Nishi-Chiba campus or your faculty office at the Inohana or Matsudo campuses. Non-degree-seeking students are not eligible for the student discount, but still can purchase an ordinary commuter pass which could be reasonable for frequent riders.

5-2. Discount on railway tickets

Degree-seeking students can purchase long distance (101 kilometers or more one way) railway tickets 20% cheaper than regular price if they submit a student discount certificate (*gakuwari shomeisho*). Student discount certificates are issued by automatic issuing machines at each campus.

VII. Daily Life in Japan

1. Garbage

Garbage disposal is a common concern in many communities. In Japan, trash is generally sorted into combustibles (things that can be burned), incombustibles, hazardous items, as well as newspapers & magazines, glass bottles, plastic bottles, and steel cans for recycling purposes. Follow the guidelines of the city and local community for separating trash. Regulations regarding where, when, how and what garbage you can dispose of are different in different areas. You should check with your local authorities (municipal/ward office) for details.

1-1. Household garbage (*katei-gomi*)

Combustibles (kitchen wastes, unrecyclable papers, etc.), incombustibles (metal wastes, glass, small house appliances, etc.), hazardous items (batteries, fluorescent lights, etc.) and recyclables (cans, bottles, newspapers, magazines, etc.) are called household garbage. Check the website of your local ward/city for when, where and how to dispose them.

How to Dispose of Household Garbage and Recyclables（City of Chiba website）
http://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/shushugyomu/gaikokugogomidasiitiran.html

Separation and Disposal of Garbage（City of Matsudo website）
https://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/gomi_shinyou/wakekatadashikata/gaikokugobann.html

1-2. Bulky items (*sodai-gomi*)

Items such as household furniture, appliances, bicycles and similar items too large to be put in the garbage bag may not be disposed as household garbage. If you need to discard bulky items, you need to arrange a pick-up and purchase “disposal tags” (*tesuryo-noufuken*) at a convenience store.

What are “bulky items” (*sodai-gomi*)?

Below are examples of bulky items (*sodai-gomi*): things you must not take out to the usual garbage station. Check the website of your ward/city (see page 69) for the list of bulky items and how you should dispose.

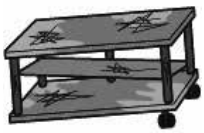
bicycle

blanket and comforter

microwave

desk

vacuum cleaner


TV rack

sofa and chair

stroller

electric fan

bookshelf

Items subject to special recycling regulations

These four items below must be recycled by the store you purchased them according to the Home Appliance Recycling Act. You must call the store, pay recycle fees, and arrange the pick-up when you no longer need them.

TV set

air conditioning

washer, dryer

refrigerator

(source: Ministry of Economy, Trade and Industry)

1-3. Items requires special recycle (*kaden* recyle)

TV sets, air conditioners, washers, dryers and refrigerators must be recycled by the store you purchased them according to the Home Appliance Recycling Act. You must call the store, pay recycle fees, and arrange the pick-up when you no longer need them. See the website above for details.

2. Banking

Banks are open from 9:00 till 15:00 (except the *Yucho* Bank which closes at 16:00) on weekdays. There are several types of accounts (*koza*) in Japan, but what you will need during your stay is a regular savings account (*futsu yokin koza*). You can open a bank account at the teller marked 'new accounts' (*sodan madoguchi*).

In a few weeks after you open a bank account, you will receive a bank card, which will enable you to withdraw or

deposit money through automatic teller machines (ATM) located at banks, station buildings, and major stores.

2-1. When opening an account

Opening a bank account is available after the resident registration has completed since your residence information is required.

You will be asked to present the following when you open an account. Confirm with the bank for details.

- student ID Card
- passport
- National Health Insurance holder's card
- Residence Card
- personal seal (*Inkan*)* *Japan Post Bank does not require an *Inkan*.

Note that you are asked to fill out the application form in Japanese by yourself: it is recommended that you practice writing your name and address in Japanese.

Also, please visit the window with someone who can speak Japanese if you cannot.

2-2. Restrictions on wire transfer

Note that some services are restricted for a certain period (usually for six months) at most banks for the account opened by foreign residents according to the law regulating fraudulent financial transactions such as money laundering. For this reason, you may not be able to receive money to your account by wire transfer while this restriction applies. Be sure to bring enough cash or a credit card with a cash advance function so that you can have cash in hand whenever necessary. Or, the money transfer services such as Western Union could be your option: there are several agents in Chiba, one located near Nishi-Chiba and Inohana campuses.

2-3. Matters to be attended

It is reported that the number of credit card fraud victims is increasing. Do not use your birthday or numbers that a third person can easily guess for your PIN number.

Also, the emergency scam (*furikome-sagi*) is one of the banking crime issues in Japan. If you are asked to deposit money to someone else's account, pay careful attention and make sure it is truly necessary.

Also, getting paid by withdrawing money from someone else's bank account could result in having a part in crime. Be careful of sweet talk. There is no easy way to make money.

3. Telephones

3-1. Mobile phones (*keitai*)

Mobile phones, called *Keitai-denwa* or just *Keitai*, have become ubiquitous in Japan.

There are currently three major mobile phone companies in Japan, au, NTT docomo, and Softbank. Each company offers a variety of mobile phone devices with different features and colors. You can pay for the devices either in full or in installments. Student discounts are also available for service plans. For details, visit the respective phone companies' websites.

When making a new contract, you will generally be asked to present several forms of identification such as:

- passport
- National Health Insurance holder's card
- Residence Card or *Juminhyo*
- credit card or bank book (card)

Since making a contract includes many specific details, it is recommended that you go with someone who speaks good Japanese.

3-2. International calls (*kokusai-denwa*)

Rates and regulations vary between telephone companies and may change from time to time. If you make an international call using your mobile phone, check the website of the mobile phone company for details.

4. Postal and Courier Services

4-1. Postal services

Japan Post (JP) offers both domestic and international postal and package delivery services at any post office. Post offices are scattered throughout city areas and are generally open from 9 am to 5 pm (banking and insurance service hours are until 4 pm). You can purchase postage stamps at some supermarkets and convenient stores as well.

When you move, you can request your mail to be forwarded to your new address by turning in a change-of-address notice to the post office.

For detailed service information, visit the following website:

Postal Service (Japan Post website)
http://www.post.japanpost.jp/english/index.html

4-2. Courier services

(1) Domestic

Express Courier services (*Takuhaibin*) come in handy when you send big or heavy parcels within Japan. Generally, you can specify the date and time of the delivery. Most major convenience stores handle courier services.

(2) International

Mails and parcels can be sent from any post office. If you need express delivery, you may want to consider the following:

Express Mail Service (EMS) (offered by Japan Post at any post office):
http://www.post.japanpost.jp/int/ems/index_en.html

5. Driving in Japan

Chiba University requests J-PAC students including MEXT Japan Studies Program students and MEXT Intensive Japanese Language course students NOT TO DRIVE while participating in the program.

Narrow, overcrowded streets and different traffic regulations make driving in Japan very difficult and dangerous for a foreigner. We strongly advise you not to drive unless absolutely necessary. It will allow you to save money and avoid the risks of driving. Remember that being involved in a traffic accident may cost you health and cause a heavy psychological trauma, not to mention financial expenses. However, in case you should decide to drive a car or ride a motorcycle beware that:

- You must carry a valid International Driver's Permit or Japanese Driver's License at all times. Foreign driver's licenses are NOT VALID in Japan. Also, International Driver's Permits issued in countries which have not ratified the Geneva Convention are NOT VALID. For details, check the website below.

  Valid International Driving Permit in Japan (Metropolitan Police Department)
  http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/multilingual/english/traffic_safety/drivers_licenses/index.files/kokusaimenkyo_english.pdf

- If you own a motor vehicle you are required to have a compulsory third party insurance (*jidosha songai baisho sekinin hoken*), however, this insurance will only cover a small portion of damage claims by a third party: it does not cover your health expenses or property damage of any other party. Therefore, you are strongly advised to buy a voluntary insurance which provides a more comprehensive coverage.

- Strictly observe Japanese traffic regulations. NEVER DRINK AND DRIVE. Even if you are of legal drinking age, you must refrain from driving a vehicle (including a bicycle) while under the influence of alcohol. Drunk driving is severely punished in Japan: with a potential fine of up to ¥1,000,000 or up to 5 years imprisonment. Note that passengers of a drunk driver are also subject to severe penalties: when you know the driver is under the influence of alcohol, you are responsible for not letting that person drive.

6. In Case of Traffic Accidents

If you are involved in a traffic accident, no matter how small you think it is, please report it to the police on the spot. If there are any eyewitnesses, it might be a good idea to record their names and contacts as well.

- Confirm the driver's license plate number and the type and color of the vehicle.
- Ask the driver to show you his/her driver's license, and write down its number as well as his/her name, address, and contact phone number.
- Write down the name and number of his/her insurance certificate.

Even if it appears that there is no injury, or only a minor injury, symptoms may appear later. Therefore, you should always be diagnosed by a doctor. Also, report the incident to your academic supervisor and to your faculty office.

7. Lost and Found

If you lose your valuables, you must go to the nearest police box or station to report a loss as quickly as possible, and have a proof of a lost property (*ishitsu todokede shoumeisho*) issued.

In particular you should act immediately if you lose any of the following items:

Passport: report to the embassy/consulate with the proof of a lost property.

Residence Card: report to the Immigration Bureau with the proof of a lost property within 14 days.

National Health Insurance Holder’s card: report to the local ward office ASAP

Student ID card: report to the faculty office.

Bank cards/Credit cards: report to the issuing bank/company.

If you think your belonging is lost on campus, report to the faculty office or to the Student Support Division (*gakusei-shien-ka*). If you lose anything on train or bus, notify the nearest station or call the lost-and-found office of the train/bus company.

8. Family

8-1. Dependent visa

If you want to bring your family (i.e., your spouse and/or child) to Japan to stay with you and you will be the supporter of them, your family should apply for a Dependent visa. Upon application, you are required to present an official document that proves your relationship to your family member, in addition to proof that you have sufficient funds to support yourself and your family in Japan. Consult the Japanese embassy for details.

After your family arrives in Japan, it is necessary to report the address to the local ward/municipal office within 14 days. It is also required to present the official certificate that proves the relationship to you (ex. marriage certificate; Japanese translation must be attached), so prepare the certificate before they leave the country.

8-2. When a child is born in Japan

When your child is born in Japan, there are two important procedures you need to complete within the designated period.

(1) apply for residency

You must apply for the resident status for your child at the local Immigration Bureau within 30 days after your child is born. It is not necessary to apply if your child is to leave Japan within 60 days after the birth.

(2) report to the ward/ municipal office

You are also required to register the birth of your child at the local ward/municipal office within 14 days after the child is born. For the registration, you need:

- Birth registration form (*shussho-todoke*) (available at the ward/municipal office)
- Document certifying you/your spouse having given birth to a child issued by a doctor at the hospital where the child was born
- Mother's and Child's Health Book (*boshi-techo*; a booklet issued by your local municipal/ward office upon reporting pregnancy)
- National Health Insurance Holder's card (*hokensho*)
- Residence Card (*zairyu* card)

8-3. Schooling

If your child reaches the school age, you will receive by mail a school entry application form for the following year from your local Educational Committee in the middle of September. If you want your child to be admitted to a public elementary school, fill in the form and return to the Educational Committee by the deadline.

9. Preparing for disasters

Japan is prone to natural disasters. In particular, earthquakes can occur very frequently at different magnitudes and places. Take the following measures to be prepared.

9-1. Daily tips

- stock up water and food at home for 2-3 days
- have a flashlight, a radio and shoes handy near your bed
- avoid placing heavy objects in high places, especially above your bed
- know your local evacuation areas

9-2. If an earthquake strikes

- secure the exit: open doors and windows
- DO NOT PANIC: do not rush out of the building
- extinguish flames if it is safe to do so
- protect your head from falling objects: use your bag to cover your head or hide yourself under the desk
- stay out of the heavy objects such as furniture, walls, and vending machines

9-3. If a large earthquake strikes during university classes

(1) Nishi-Chiba campus

If you are at the Center for International Education, teachers and staff will guide you to the area on the south of the library, and then to the athletic field on the north side of the Faculty of Education.

Follow the instruction of teachers and staff when you are at other places.

(2) Inohana campus

Teachers and staff will guide you to the out of the building and gather in a large place such as the main gate, the old main gate, and the parking lot. People on the 1st to 3rd floors of the Research Building of Medical Science will evacuate to the parking lot on the north side of the building. People from the 4th floor to the 11th floor evacuate to the parking lot in front of the main gate and next to the restaurant.

(3) Matsudo campus

Teachers and staff will guide you to the open space in front of *Ryokufu Kaikan* building.

9-4. After the earthquake ends

(1) Obtain reliable information

Don’t believe rumors or fake news. Listen carefully to radio announcements and information issued by disaster prevention authorities and the local government.

(2) Find refuge in temporarily shelters

The local government sets temporarily shelters if the area suffers severe damage. Elementary schools, junior high schools, and public halls in the vicinity become such shelters, and food and reliable information are to be provided. Everyone who lives in the area can use the shelter.

If large fires are caused by an earthquake, evacuate further to designated places as Broad-area evacuation sites, such as large parks or squares.

≪Broad-area evacuation sites in case of earthquake etc.≫

Broad-area evacuation sites are places to evacuate in case of a widespread fire or etc.

Around Nishi-Chiba campus → Nishi-Chiba campus premises
Around Inohana campus → Aoba no Mori Park
Around Matsudo campus → Matsudo campus premises
Those who live in Chiba University International House → Konakadai Elementary School

(3) How to recover when the gas stops after the earthquake

The gas meter will automatically shut off the gas when it suspects an irregularity in gas usage or detects an earthquake magnitude 5 or greater. If you smell gas, never try the reset procedure. Keep Fire Away and call the gas company immediately.

If the gas stops, the red lamp on the gas meter blinks, the area is not designated as a gas supply stop area, and there is no abnormality such as a gas leak, the gas will be restored and the gas can be used.

Https://youtu.be/X5O3VyiclLY (Tokyo Gas video with English subtitles)

10. Warnings

(1) Stay away from drugs

Possession or use of illegal drugs is a serious crime in Japan. Marijuana (or cannabis, hemp) is included as one of the illegal drugs in Japan though it may not be in some countries and regions. Also, stay away from “fake pot” (*dappou* herb). Once you get involved in drugs, it leads to irreversible consequences that end up destroying your academic, family and social life. Also, do not let anyone you don’t know leave baggage with you especially at the airport since you may get involved in drug trafficking or other criminal activities.

(2) Beware of cults

There are groups of people that solicit students to join activities involving antisocial behavior. They may approach students in a very friendly and generous manner, hiding their true identities and purposes. DO NOT readily provide your personal information to strangers. If you ever sense something wrong with an organization or group of people, contact ISD or you may also report it to: cultsoudan@office.chiba-u.jp

(3) Comply with traffic rules

Recently, traffic accidents involving bicycles are increasing. Read Traffic rules and Driving in Japan and know traffic rules and "NOT-TO-DO"es.

Useful numbers

POLICE		110	
FIRE		119	
AMBULANCE		119	
Chiba University	operator	043-251-1111	(home) http://www.chiba-u.jp/
	ISD	043-290-2195	http://www.chiba-u.ac.jp/international/isd/english/index.html
	CIE	043-290-2197	https://cie.chiba-u.ac.jp/
	International Student Division	043-290-2199	J-PAC、Scholarship
		043-290-2195	Institutional guarantee, housing
	International House	043-251-4715	Dormitory office
Tokyo Regional Immigration Bureau (Chiba branch office)		043-242-6597	formalities regarding the status of residence (for the residents of Chiba prefecture)
Tokyo Regional Immigration Bureau		0570-034-259	formalities regarding the status of residence
Inage ward office		043-284-6111	resident registration, National health insurance
Chuo ward office		043-221-2111	
Matsudo city hall		047-366-1111	
Chiba water works bureau		0570-001-245 (043-310-0321)	water service
Tokyo Electric Power Company (TEPCO) (Chiba branch office)		0120-99-5551	electric power service
Tokyo Gas (Chiba branch office)		043-242-6121	gas service
Chiba City International Association		043-245-5750	support on daily life, legal consultation service, Japanese language classes
			http://www.ccia-chiba.or.jp/index.php/en/forforeign/dailyconsultationservices.html
Foreign Residents Support Center		0570-011000 03-3580-4111	general inquiries regarding immigration formalities https://www.moj.go.jp/isa/support/fresc/fresc01.html A DAILY LIFE SUPPORT PORTAL FOR FOREIGN NATIONALS https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/index.html
			Mon - Fri / 9:00～17:00 / 18 Languages

Websites offering information on Chiba

Chiba Prefectural Government	https://www.pref.chiba.lg.jp/ in Japanese, English, Korean, Chinese, Thai, Vietnamese, Spanish, and Portugues
Living Guide “Hello Chiba”	https://www.pref.chiba.lg.jp/kokusai/hellochiba.html in Japanese, English, Korean, Chinese, Spanish, Portuguese, Tagalog, Thai, and Vietnamese
Search Hospital & Clinic in Chiba	https://www.qq.pref.chiba.lg.jp/ in Japanese, English, Korean, Chinese, Spanish, Thai, Portuguese, Tagalog, and Persian
Disaster Prevention Site in Chiba	http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/ in Japanese, English, Korean, Chinese, Spanish, and Portuguese
Tourist information in Chiba	http://maruchiba.jp/ in Japanese, English, Korean, Chinese, Thai, Malay, and Portuguese
Chiba International Information Square	https://www.pref.chiba.lg.jp/kokusai/kokusaikouryuu/hiroba.html in Japanese, English, Korean, Chinese, Spanish, Portuguese, Tagalog, German, and Thai
Chiba International Center	https://www.mcic.or.jp/en/ in Japanese, English, Chinese, and Spanish
Police Net Chiba	https://www.police.pref.chiba.jp/english/index.html in Japanese, English, Korean, Chinese, and Spanish

緊急時の連絡先

Numbers to call in case of emergency

突遇紧急灾害时候联络处

긴급　재해시의　연락처

□火事　Fire　火灾　화재 ⇨ ☎ １１９

電話番号は　１１９　です。　Call 119.　请拨打 119。　119 번에 전화하십시오.

・「火事です」とまず伝えましょう。
Tell a dispatcher you are reporting a fire first.

・火事の起きている場所を伝えましょう。
Tell the dispatcher where the fire is.

□救急車　ambulance　救护车　응급차 ⇨ ☎ １１９

電話番号は　１１９　です。　Call 119.　请拨打 119。　119 번에 전화하십시오.

・「救急です」とまず伝えましょう。
Tell a dispatcher you are reporting a medical emergency first.

・救助が必要な場所を伝えましょう。
Tell the dispatcher where you need help.

□警察　police　警察　경찰 ⇨ ☎ １１０

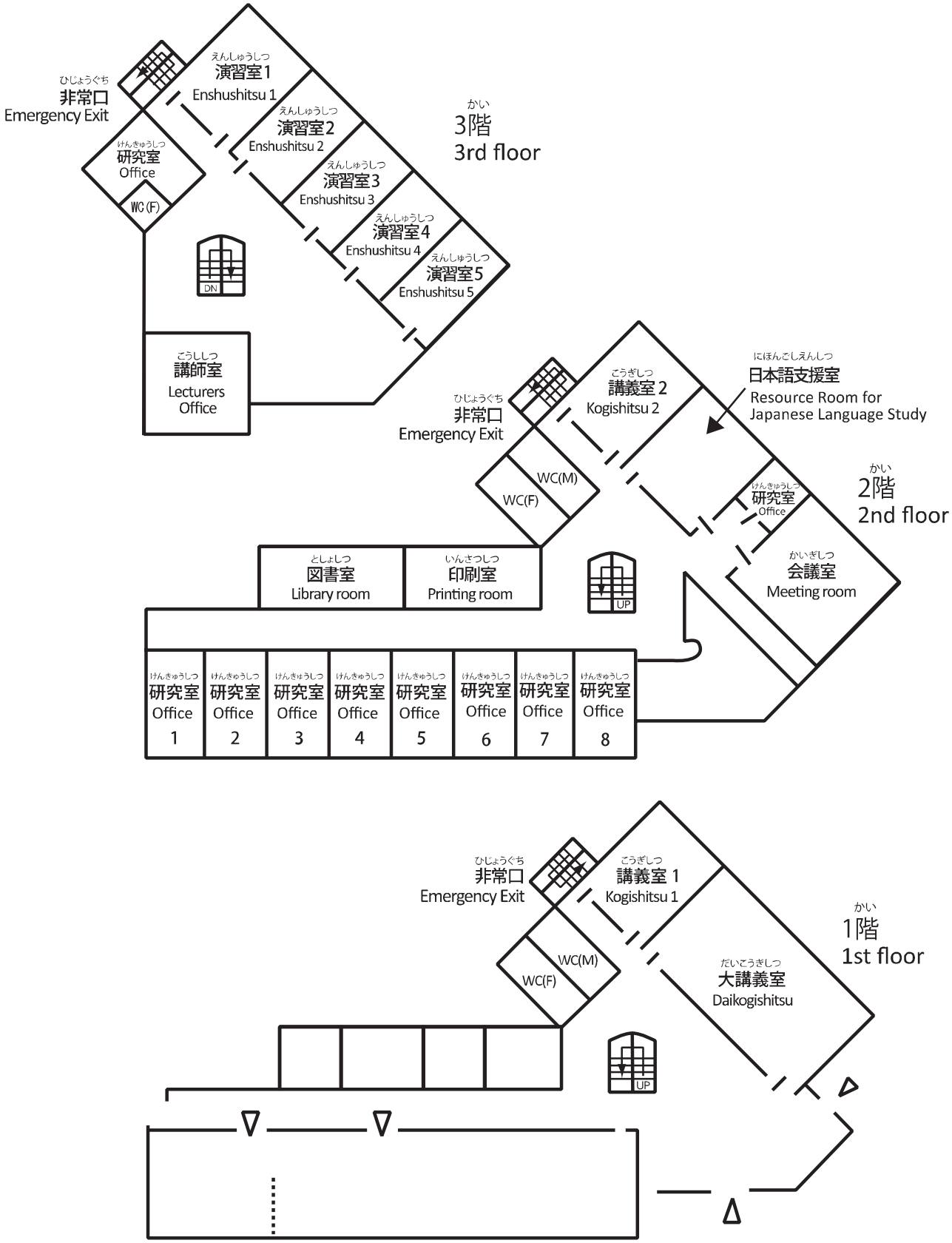
電話番号は　１１０　です。　Call 110.　请拨打 110。　110 번에 전화하십시오.

・何が、どこで起きているのかを伝えましょう。
Tell a dispatcher where you need help and what is happening.

＊交番　KOBAN（police Box）
身の危険を感じた時は、交番に駆け込んで、警官の助けを求めることができます。
If you feel in danger, you can rush to KOBAN and ask for the help of a police officer.

国際教育センター 案内図

Floor map of Center for International Education (CIE)



千葉大学国際教育センター（CIE）
インターナショナル・サポートデスク（ISD）
Center for International Education (CIE)
International Support Desk (ISD)
2022. 1 改訂
1-33, Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba-shi,
Chiba 263-8522 Japan
Mail to : isd@office.chiba-u.jp
www.chiba-u.ac.jp/e